



**可燃性ガス用ポータブルガス検知器**

**NC-1000**

**データログマネージメントプログラム**

**SW-NC-1000**

**取扱説明書**

**理研計器株式会社**

〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6

ホームページ <http://www.rikenkeiki.co.jp/>

## 目次

	頁
1. はじめに	3
1-1. このプログラムの目的と特徴	3
2. インストールとアンインストール	4
2-1. 使用環境のご注意点	4
注意：CD-ROMの取り扱いのご注意点	4
2-2. ソフトウェアのインストール	4
2-3. インストール作業の流れ	5
注意：再インストールにおける過去データの保存	8
注意：Microsoft Windows7、Windows8、Windows10でのインストール注意点	8
2-4. アンインストール作業	9
3. 操作方法	11
3-1. ダウンロード画面	11
① NC-1000からデータを受信する	12
② 機器情報データを受信する	13
③ 各種データのダウンロード	14
④ 本体データの一齐ダウンロード	15
⑤ NC-1000本体のデータクリア	16
⑥ NC-1000本体の電源OFF	16
⑦ 自動処理に変更する	17
3-2. 機器情報画面	18
① データ元の種別	19
② ステータス情報	19
③ 校正履歴に関する情報	20
④ センサー警報点の情報	20
3-3. データ閲覧画面	21
① データを削除する	22
② データの詳細を見る	22
③ 概要表示欄	23
3-4. データ詳細画面	26
① 表とグラフの切り替え	27
② プリンタに印刷する	28
注意：プリンタ設定の注意点	30
③ ファイルに保存	31
④ データの概要が同時に知りたいとき	32
⑤ 表の詳細	33
⑥ グラフの詳細	34
3-5. 最新校正データ画面	35
① 表示内容の変更	36
② プリンタに印刷する	37
③ データの削除	38
④ パスワードの変更	39
3-6. 設定画面	40
① フォント・グラフ色の変更	41
② 本体ステータスの変更	42
③ NC-1000本体への変更通知	43
4. データの保守	44
4-1. データの格納構造の詳細	44
4-2. バックアップ	44
5. 使用上の注意点	45
6. トラブルシューティング	46
7. IrDA仕様	47
7-1. 赤外線通信について	47
7-2. 通信開始の状態表示	47
8. ファイル構成	48
8-1. インストール直後のカレントディレクトリ	48
8-2. 運用中のカレントディレクトリ	48
9. ソフトウェア機能諸元	49

## 1. はじめに

本取扱説明書に記されている操作方法及び、注意事項は、指定の使用目的に使用する場合のみ適用するものです。本取扱説明書に書かれていない使用方法を行う場合は、当社としては責任は負いかねます。

本取扱説明書では、Microsoft Windows 7、Windows 8 および Windows 10 のコマンド選択やダイアログボックスの設定などの基本的な共通操作については説明していません。初めて Windows をお使いになる方は、最初に Windows のマニュアルなどをお読みになり、Windows の基本的な操作方法を覚えてください。



### 警告

本製品のプログラム配布用CDの種類は「CD-ROM」です。  
一般オーディオ用CDプレーヤーなどでは絶対に再生しないでください。  
大音量により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。

## 注意

### ポインティングデバイスの必要性

本ソフトウェアは、マウス・タッチ패드などのポインティングデバイスを必要とします。  
キーボードのみでの操作は出来ません。

### 1-1. このプログラムの目的と特徴

本プログラムは、NC-1000に搭載されていますデータログ機能を使用して収集したデータをパソコンに取り込み有効活用するためのソフトウェアです。

データログ機能によって収集したデータをパソコンに取り込むことで次のような利点があります。

- ・ 収集データの一覧表示ができます。
- ・ 収集データの詳細をグラフ化したり、表にして見ることが出来ます。
- ・ グラフや、表のデータを印刷して紙で保管できます
- ・ 過去のデータを記録しておけます
- ・ データを手書きで紙に書き写す必要がなくなります。
- ・ 校正が必要な機器をすばやく知ることができ、自動的に校正を行なうことが出来ます。
- ・ 複数の機器の管理が容易に行なえます。

## おことわり

- 本書の内容の全部または一部を当社に無断で転載あるいは複製することは、法令に別段の定めがある場合を除き、堅く禁じられています。
- 本書の内容は、本製品の改良のため予告なく変更することがあります。
- 本製品をご使用になるには、別掲の「ソフトウェア使用許諾契約書」にご同意いただくことが必要です。パッケージを開封された際に、同条項へのご同意があったものとさせていただきますので、ご了承ください。
- 本ソフトウェアは、所定の目的以外の使用はできません。取扱説明書に従わず本ソフトウェアを使用した場合、あるいは独自の改造をした場合、製品の安全と品質が維持できなくなる場合があります。また、これらによって事故が発生した場合は責任を負いかねます。

(c) Copyright 2013 Riken Keiki co.,Ltd. All rights reserved.  
本ソフトウェアの著作権は理研計器株式会社が保有しています。

Microsoft Windows 7、Windows 8、Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

## 2. インストールとアンインストール

### 2-1. 使用環境のご注意点

本プログラムは、Microsoft 社製のオペレーティングシステムである、Microsoft Windows 7、Windows 8 および Windows 10 上での使用が可能です。他のオペレーティングシステム上での使用は出来ませんのでご注意ください。

本プログラムの、インストール時には最大約40MB のハードディスク容量が必要になり、運用時にはデータ数に応じてハードディスク容量が必要になります。容量に十分余裕のある状態でご使用ください。

### 注意

CD-ROM の取り扱いのご注意点
<ol style="list-style-type: none"><li>1. CD-ROM の保管 直射日光が当たる場所や高温多湿の場所での保管はしないでください。</li><li>2. CD-ROM ドライブの指定 スロットインタイプの CD-ROM ドライブでのご使用は避けてください。 CD-ROM に貼付してあるラベルが影響して、CD-ROM の取り出しが上手く出来ないことがあります。 ご使用になる CD ドライブは、トレイ方式をご使用ください。</li></ol>



### 2-2. ソフトウェアのインストール

ご使用になる、パーソナルコンピュータの CD-ROM ドライブに本プログラムの納められたインストール CD をセットします。しばらくするとインストール画面が自動的に起動します。

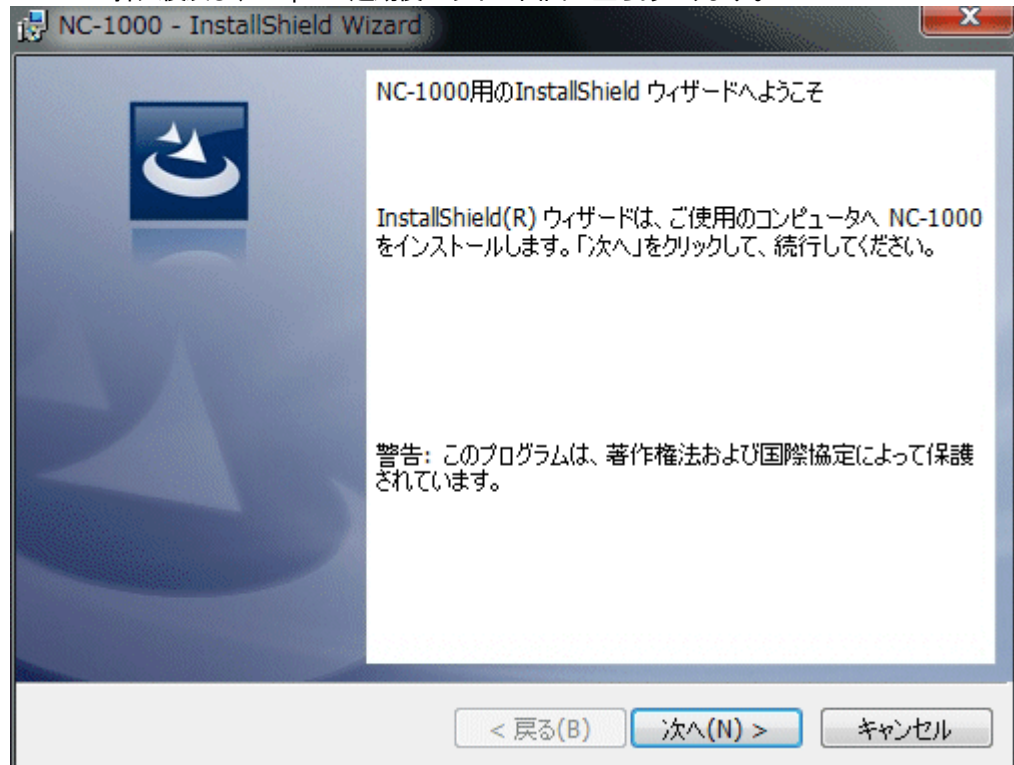
ご使用のパーソナルコンピュータが CD-ROM 自動起動処理に対応していない場合は、以下の方法で作業を進めます。

1. エクスプローラで CD-ROM ドライブを開きます。
2. “setup.exe” ファイルをダブルクリックします。

## 2-3. インストール作業の流れ

## ● セットアップの起動

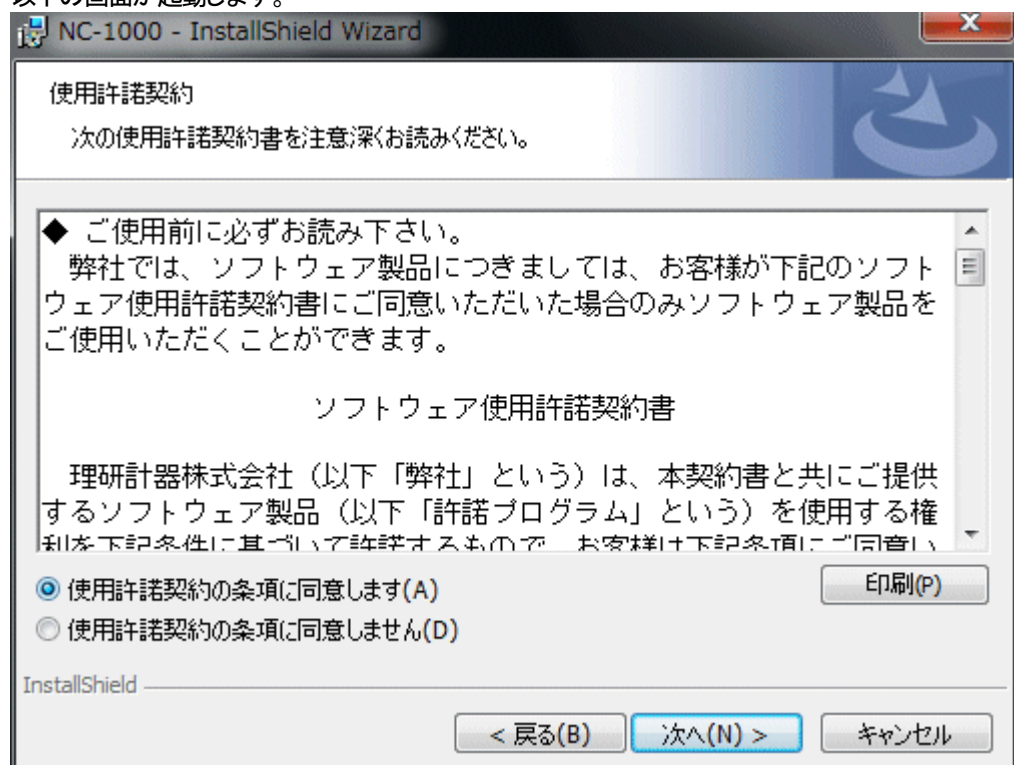
CD-ROM 挿入後及び、setup.exe 起動後に以下の画面が立ちあがります。



“次へ”ボタンをクリックしてください。

## ● 使用許諾の同意

以下の画面が起動します。



インストールを行う場合は“次へ”、中止する場合は“キャンセル”ボタンをクリックしてください。  
注意:ソフトウェア使用許諾契約書の内容を十分ご理解の上、本ソフトウェアのインストールを進めてください。

## ● ユーザ情報

“次へ”ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "NC-1000 - InstallShield Wizard". The main area is titled "ユーザー情報" (User Information) and contains the instruction "情報を入力してください。" (Please enter information.). Below this are two input fields: "ユーザー名(U):" (User Name) with the text "test" entered, and "所属(O):" (Organization). At the bottom, there are three buttons: "< 戻る(B)" (Back), "次へ(N) >" (Next), and "キャンセル" (Cancel). The "InstallShield" logo is visible in the bottom left corner.

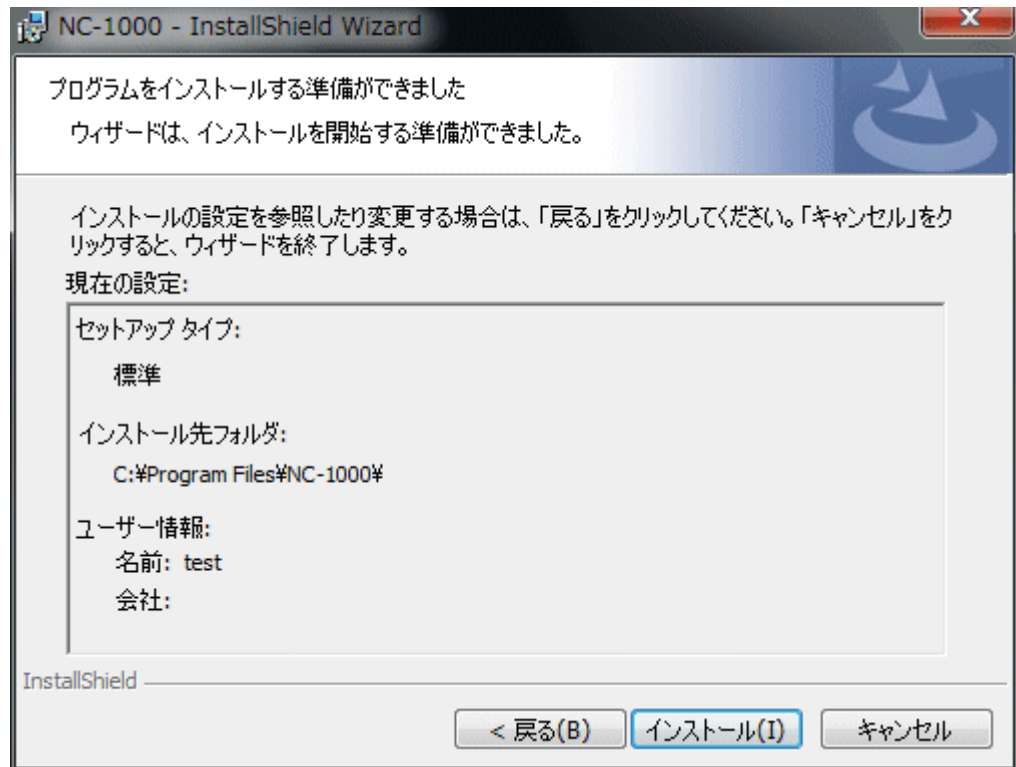
“次へ”ボタンをクリックします。

## ● インストール先のフォルダ

The screenshot shows the same dialog box, now at the "インストール先のフォルダ" (Installation Folder) step. The instruction reads: "このフォルダにインストールする場合は、「次へ」をクリックしてください。別のフォルダにインストールする場合は、「変更」をクリックします。" (If you want to install in this folder, click "Next". If you want to install in a different folder, click "Change"). Below the instruction is a folder icon and the text "NC-1000 のインストール先:" followed by the path "C:\Program Files\NC-1000\". A "変更(C)..." (Change...) button is located to the right. At the bottom, the same three buttons from the previous step are present: "< 戻る(B)", "次へ(N) >", and "キャンセル".

“次へ”ボタンをクリックします。

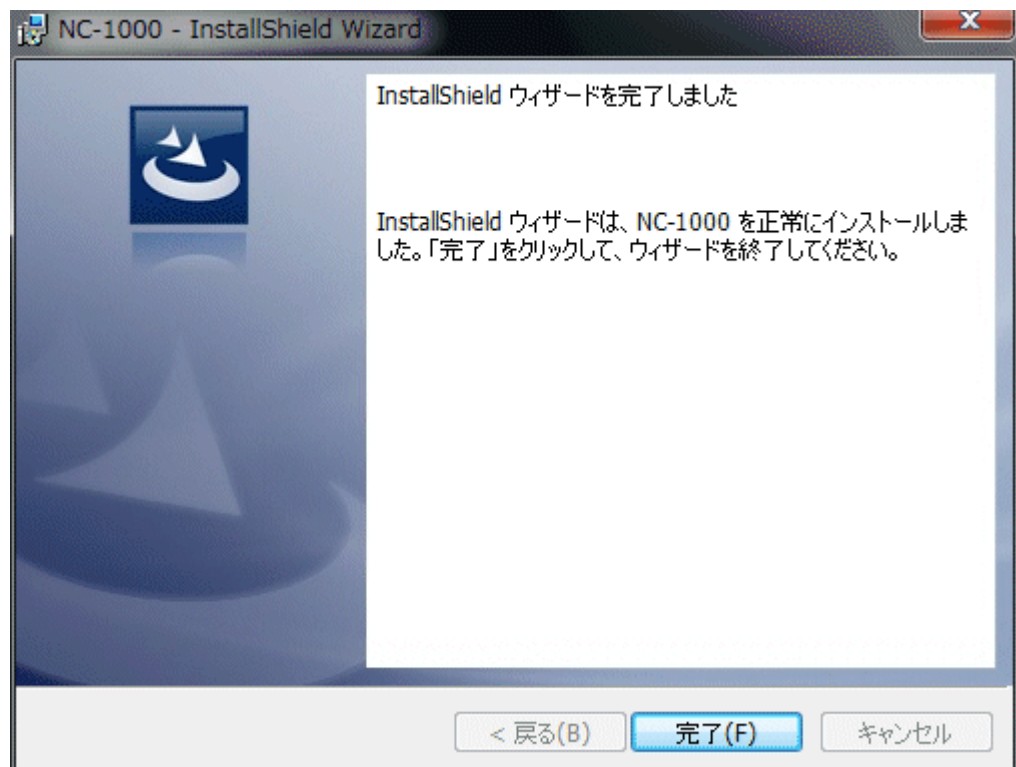
## ● セットアップの開始



“次へ”ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

## ● 完了

セットアップ作業が終了すると以下の画面が表示されます。



セットアップ完了後は、直ちに本プログラムがご使用になれます。

**注意**

## 再インストールにおける過去データの保存

再インストールを行なう場合は、以下の事柄に注意してください。

1. 一度アンインストールを行なってから、再度インストール作業をしてください。
2. 運用したあとで、アンインストールを行なった場合、ファイルが完全に消しきれず残っています。この内“NC1000.mdb”はデータベースファイルです。過去データを保存しておきたい場合は、このファイルを別の場所に保存し、フォルダを消去してください。

**注意**

## Microsoft Windows 7、Windows 8、Windows 10 でのインストール注意点

本ソフトウェアは Windows システムに各種ドライバーなどのライブラリーが必要で、インストール時に自動的に組み込み処理が起動されます。

しかし Microsoft Windows 7、Windows 8 および Windows 10 をご使用のお客様の場合は、システムライブラリーをインストールする際にアドミニストレータ(管理者)権限でのインストールを要求されます。

この場合は指示に従い、アドミニストレータでログオンし、システムライブラリーをインストールしてください。

その後システムの再起動を要求されますので、再起動後に一般ユーザーでログオンしなおし、アプリケーションのインストールを行います。

(ライブラリーも、アプリケーションも CD-ROM 内の setup.exe を起動すれば、OK です。システムフォルダ内に必要なライブラリーがない場合のみアドミニストレータ権限でのインストールが必要になります。)

## ネットワーク接続環境下での使用について

Microsoft Windows 7、Windows 8 および Windows 10 をご使用で、ネットワークに接続されているパーソナルコンピュータにインストールする場合は、以下の内容をご確認ください。

IrDA 通信は TCP/IP 技術(インターネットなどに使用されている通信技術)の一部を使っており、特殊な通信グループ・IP アドレスを使用します。

これに伴い、強固なインターネットセキュリティソフトウェアが通信を拒否する場合があります。

可能な限りネットワークに接続されていないコンピュータで使用してください。

また、仕方なくネットワークに接続されているコンピュータの場合は、セキュリティ設定を十分ご検討いただいた上で使用してください。



## 2-4. アンインストール作業

## ● 起動

アンインストールは、タスクバーの“スタート”から“設定”をクリックし、その中にある“コントロールパネル”を起動します。

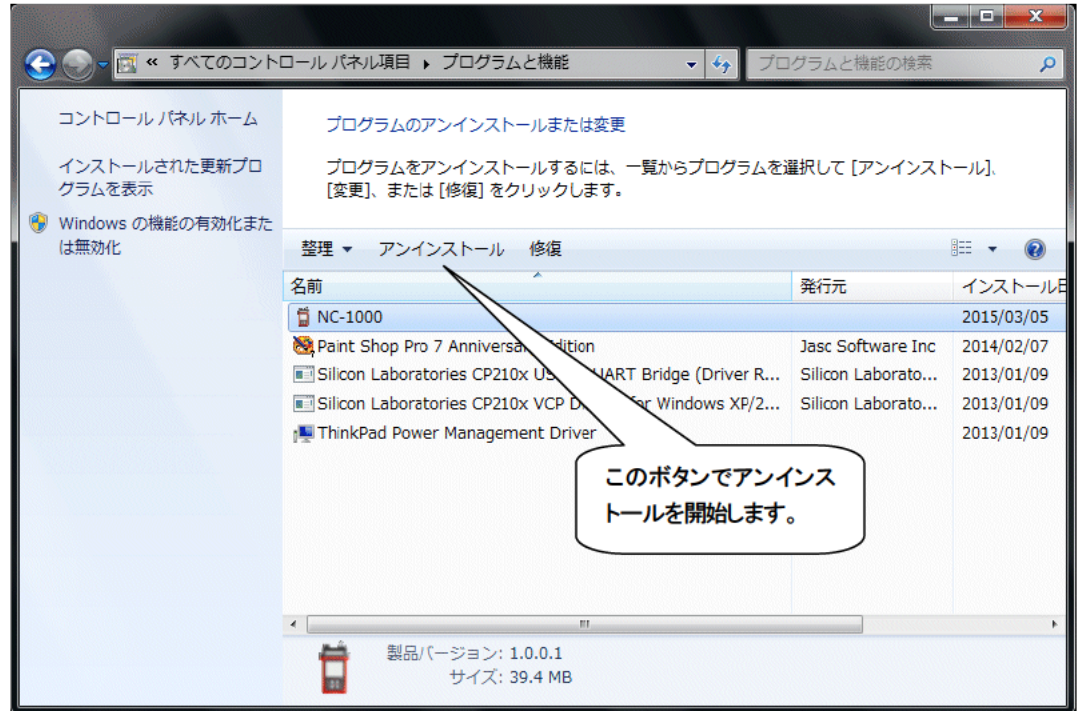
コントロールパネル(例)



コントロールパネル内の、“プログラムの追加と削除”をダブルクリックし、起動します。

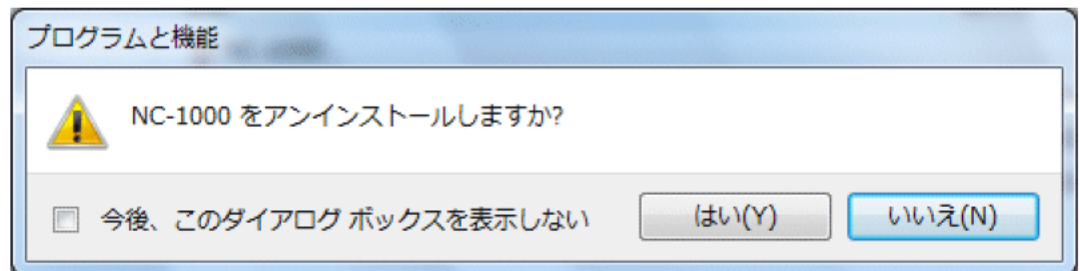
## ●NC-1000 の選択

“アプリケーションの追加と削除”をダブルクリックすると以下の画面が起動します。



## ● 削除開始

“NC-1000”を選択(クリック)し、“削除”ボタンをクリックします。



“はい”をクリックすると、アンインストールを開始します。

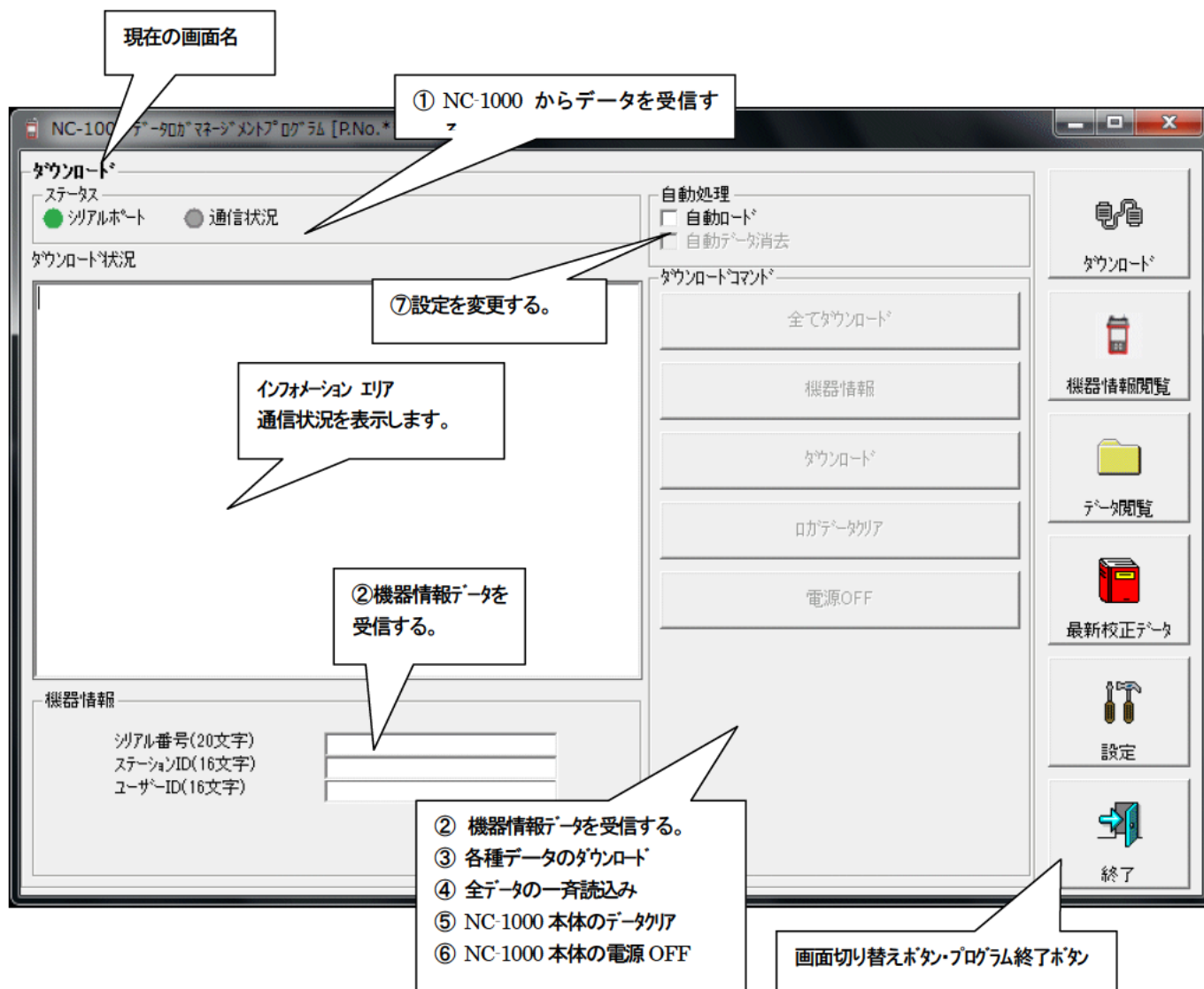
注意:アンインストール中に“共有コンポーネントを削除しますか?”とメッセージが出る場合があります。“全て削除”を選ぶと、他のアプリケーションに影響を与える場合がありますので、“全て残す”を選択してください。

### 3. 操作方法

デスクトップのショートカット“NC-1000”、またはスタートメニューをクリックし、“プログラム”を起動します。

#### 3-1. ダウンロード画面

オープニング画面の後、ダウンロード画面が表示されます。



データの通信は NC-1000 本体を適切な位置に置き、本プログラムが起動した状態で、本体の電源を ON すれば自動的に通信可能か判断し、通信可能であれば受信待機状態になります。

① NC-1000 からデータを受信する

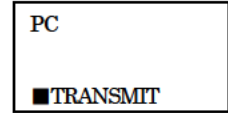
● 本体の準備

1. 本ソフトウェアを起動します。
2. NC-1000 本体を、電源を切った状態で通信可能な位置に置きます。
3. NC-1000 本体の電源を ON にします。

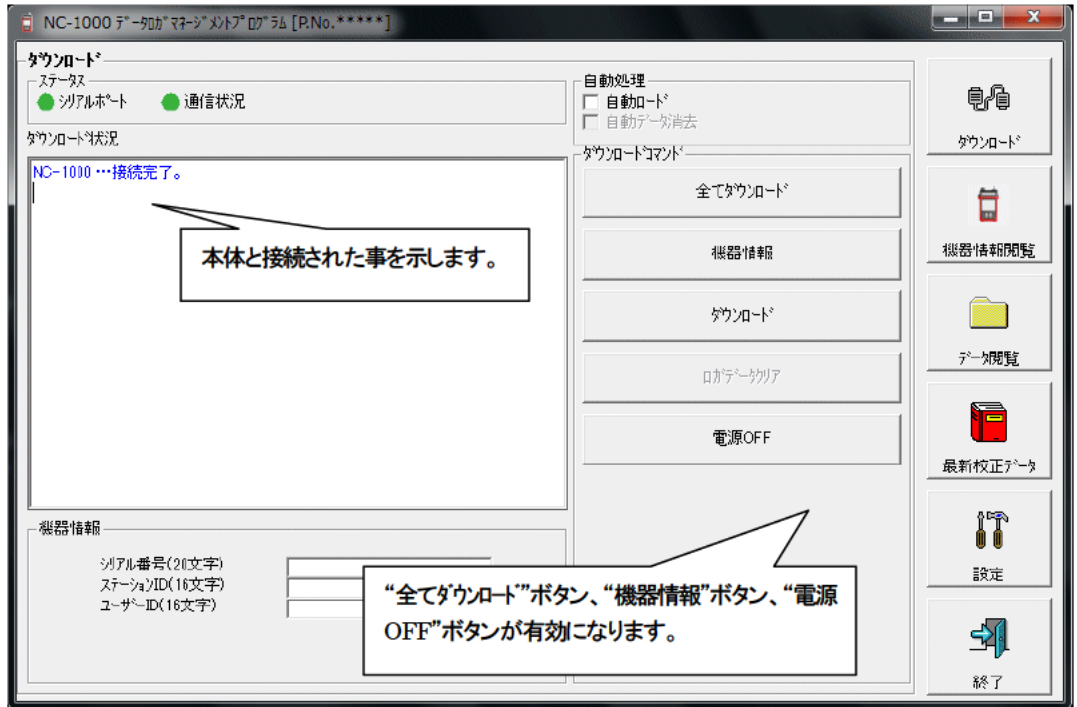
注意：

必ず、通信可能な位置に置いてから NC-1000 の電源を ON にしてください。  
電源 ON の状態で通信可能な位置に置いても接続できません。

NC-1000 本体の液晶には右図のように表示されます。 →  
(NC-1000 の液晶の表示能力の関係上、多少見にくくなっています。)



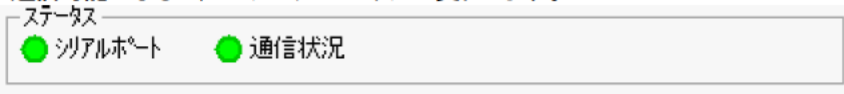
インフォメーション エリアに以下のように表示されます。



注意：

インフォメーション エリアの表示が上記と異なる場合は、NC-1000 本体の電源を OFF にし、設置位置などを確認した上で再度電源を ON にしてください。

通信可能になると、“ステータス”エリアが変化します。



シリアルポート:

- 通信可能時： 緑 パーソナルコンピューターのポートが使用可能
- 通信不可時： 赤

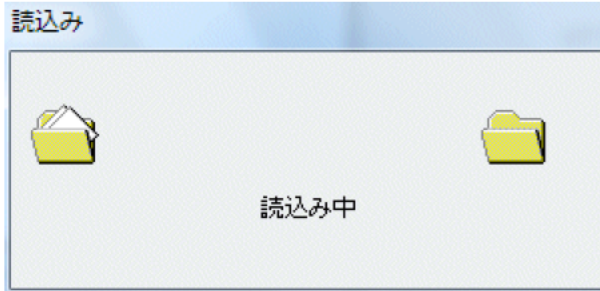
通信状況:

- 通信待ち時： 灰
- 通信中： 緑

② 機器情報データを受信する

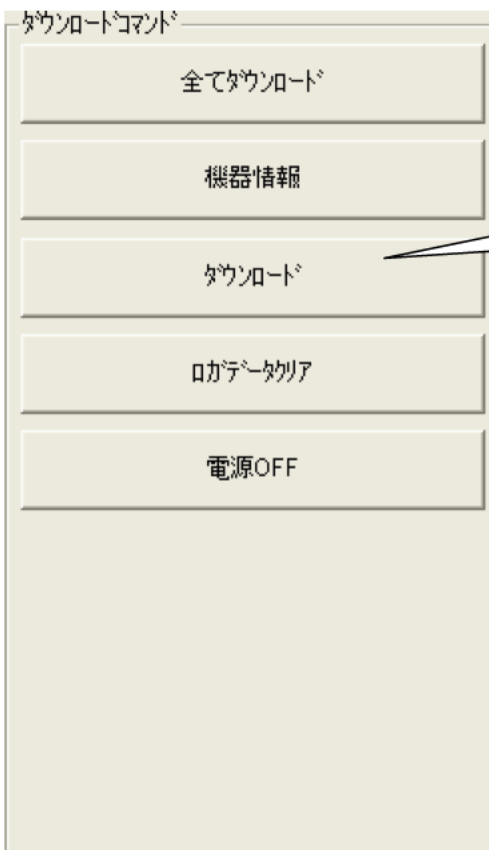
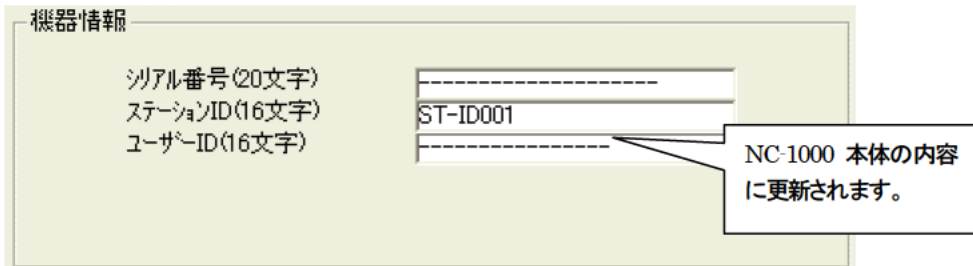
● 機器情報受信

最初に“機器情報”ボタンをクリックし、機器情報データの受信処理を行います。



受信中はアニメーションが表示されます。

“機器情報”データ受信後、“機器情報”エリアの内容が更新され、“ダウンロード”ボタン、“ロカデータクリア”ボタンが有効になります。

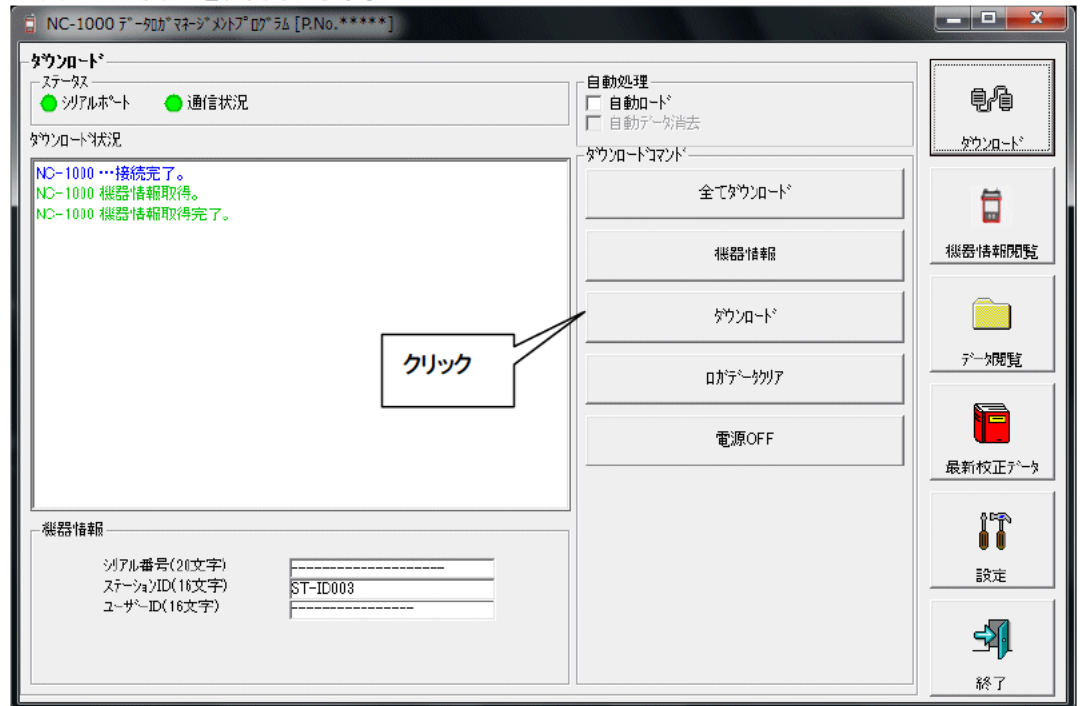


③ 各種データのダウンロード

- トレンドデータ
- イベントデータ

“機器情報”ボタンで、機器情報データをダウンロードした後に、“ダウンロード”ボタンが操作可能になります。

“ダウンロード”ボタンをクリックします。



インフォメーション エリアにデータ受信状況が表示されます。

**注意 :**

各データのダウンロード中は、他のデータアクセスを禁止するため、他のダウンロードボタン及び、“設定”ボタンが使用できなくなります。

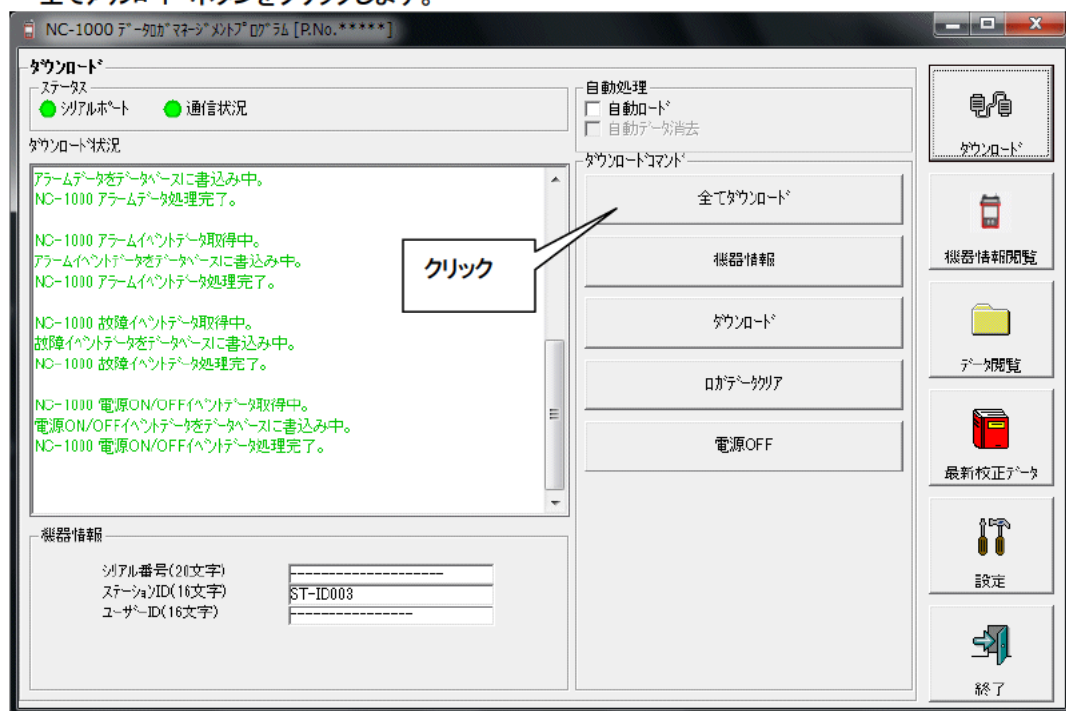


④ 本体データの一斉ダウンロード

● 全データ

“全てダウンロード”ボタンは、“機器情報”、“インターバルトレント”、“アラームトレント”、“アラームイベント”、“故障イベント”、“電源 ON/OFF イベント”のデータを一斉にダウンロードします。

“全てダウンロード”ボタンをクリックします。



インフォメーション エリアにデータ受信状況が表示されます。

注意 :

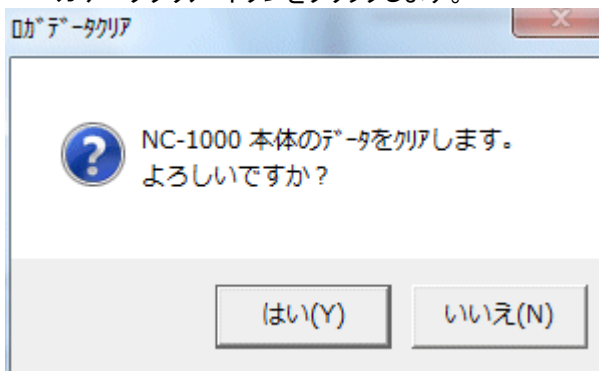
各データのダウンロード中は、他のデータアクセスを禁止するため、他のダウンロードボタン及び、“設定”ボタンが使用できなくなります。

## ⑤ NC-1000 本体のデータクリア

## ● データクリア

“ログデータクリア”ボタンでNC-1000 内部の各種データを削除します。

“ログデータクリア”ボタンをクリックします。



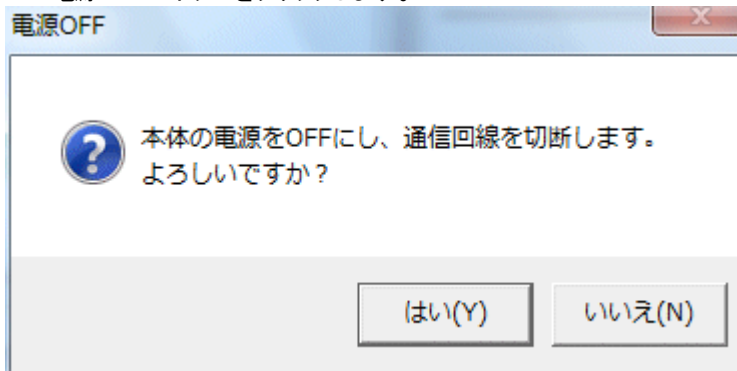
“はい”をクリックすると、データのクリア処理が開始されます。

## ⑥ NC-1000 本体の電源 OFF

## ● 電源 OFF

“電源 OFF”ボタンで NC-1000 本体の電源を OFF にし、パーソナルコンピュータのシリアルポートを初期化します。

1. “電源 OFF”ボタンをクリックします。



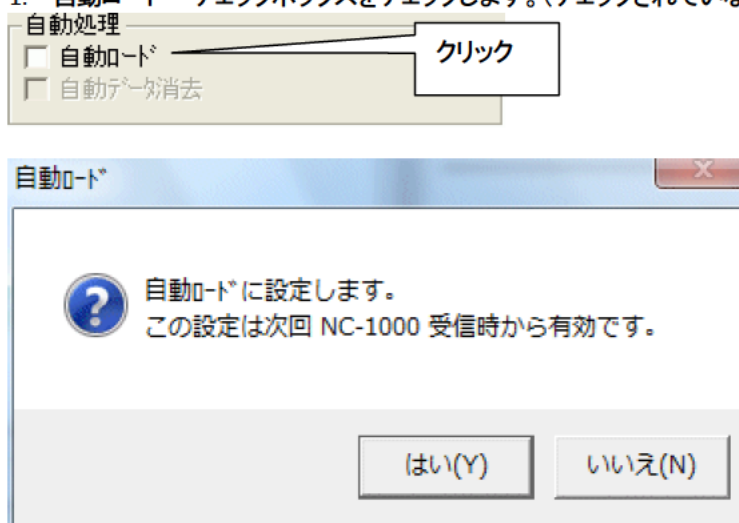
“はい”をクリックすると、NC-1000 本体の電源 OFF 処理が開始され、パーソナルコンピュータのシリアルポートが初期化された後、本体からのデータ受信待ちになります。



⑦ 自動処理に変更する

● 自動ロードモード

1. “自動ロード” チェックボックスをチェックします。(チェックされていない状態の場合)



“はい”をクリックすると、自動処理に移行します。  
 “いいえ”をクリックすると、モード変更がキャンセルされます。

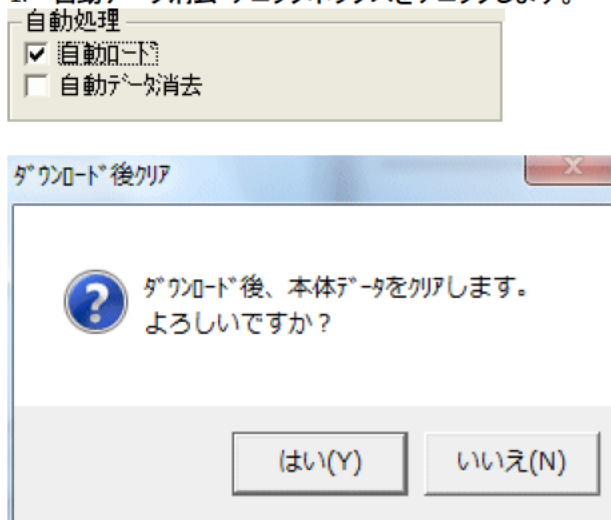
● ロード後の自動消去

NC-1000 本体の電源を ON した後、パーソナルコンピュータ側が、自動的に全データをダウンロードし、NC-1000 本体の電源を OFF にします。

自動処理中は、手動でダウンロードすることはありません。

自動処理では、ダウンロード後に、ダウンロードしたデータを自動削除することが出来ます。

1. “自動データ消去”チェックボックスをチェックします。



“はい”をクリックすると、全データをダウンロード後、NC-1000 内部の各種データを自動的に削除します。

※何回もダウンロード → 消去 → ダウンロードと繰り返す場合、ダウンロード時間を短くできるので便利です。

### 3-2. 機器情報画面

画面右端の“機器情報閲覧”ボタンをクリックすると以下の画面に切り替わり、接続されている NC-1000 本体の機器情報データ一覧を見ることが出来ます。

① データ元の種別

② ステータス情報

③ 校正履歴に関する情報

このボタンをクリック

機器情報[接続中]

NC-1000 ステータス  
シリアル番号(20文字)

ステーションID(16文字)  
ST-ID003

ユーザーID(16文字)

校正履歴						
ガス	校正日時	校正前	校正後	校正濃度	校正間隔(日)	
CH4(10000ppm)	2015/03/04 17:02:57	800	800	800	89	

ハンフ試験履歴				
ガス	ハンフ試験日時	試験結果濃度	試験ガス濃度	ハンフ間隔(日)
CH4(10000ppm)	2015/03/04 17:02:32	790	800	29

警報点			
ガス	ワーニング	アラーム	
CH4(10000ppm)	300	600	

④ センサ警報点の情報

ダウンロード

機器情報閲覧

データ閲覧

最新校正データ

設定

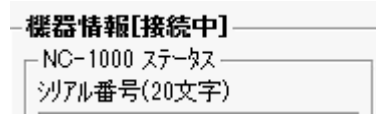
終了

注意：この画面は閲覧のみ可能です。データの変更は出来ません。→ 3-6. 設定画面を参照ください。  
“機器情報”データをダウンロードしていない場合はデータが表示されません。

① データ元の種別

● データ元情報

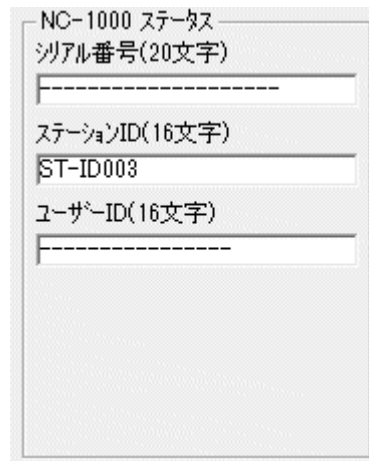
接続されているマルチガスモニタ本体の情報を表示している場合は[接続中]の文字が表示されます。



② ステータス情報

● 情報詳細

本体内部に格納されている、“シリアル番号”、“ステーション ID”、“ユーザーID”が表示されます。  
注意：この欄は、閲覧のみで変更することはできません。



③ 校正履歴に関する情報

● 校正履歴詳細

ガス	校正日時	校正履歴			
		校正前	校正後	校正濃度	校正間隔(日)
CH4(10000ppm)	2015/03/04 17:02:57	800	800	800	89

内容 :

- ガス : 各測定ガス名(フルスケール単位)
- 校正日時 : 前回校正した日付
- 校正前 : 前回の校正前濃度
- 校正後 : 前回の校正後濃度/校正不良
- 校正濃度 : 自動校正用濃度
- 校正間隔(日) : 未校正状態での、保証期間 (1ヶ月前になると赤く警告表示されます。)

● バンプ試験履歴詳細

ガス	バンプ試験日時	バンプ試験履歴		
		試験結果濃度	試験ガス濃度	バンプ間隔(日)
CH4(10000ppm)	2015/03/04 17:02:32	790	800	29

内容 :

- ガス : 各測定ガス名(フルスケール単位)
- バンプ試験日時 : 前回バンプ試験した日付
- 試験結果濃度 : 前回の結果濃度
- 試験ガス濃度 : 前回の試験ガス濃度
- バンプ間隔(日) : 未バンプ試験状態での、保証期間 (1ヶ月前になると赤く警告表示されます。)

④ センサー警報点の情報

● 詳細

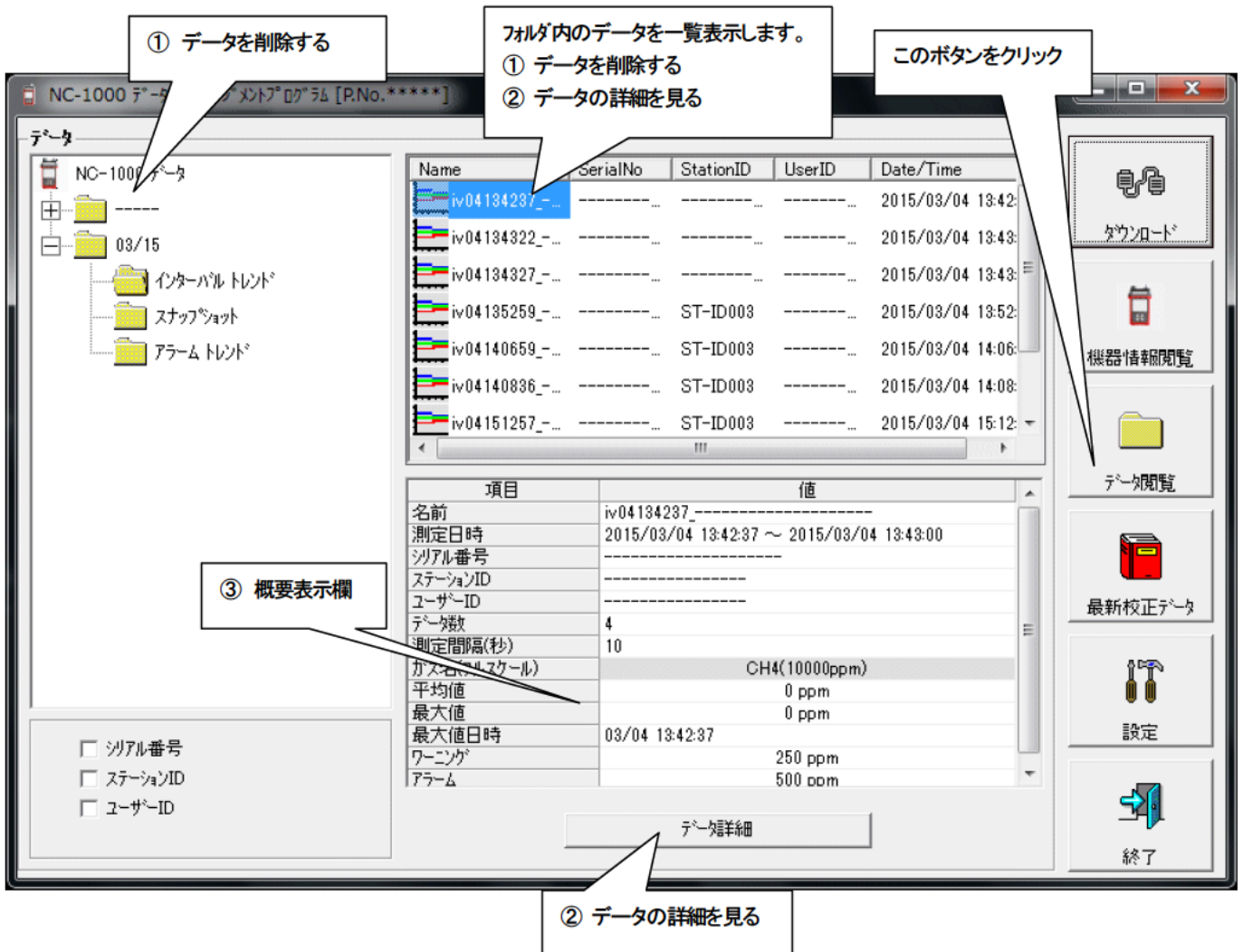
ガス	警報点	
	ワーニング	アラーム
CH4(10000ppm)	300	600

内容 :

- ガス : 各測定ガス名
- ワーニング : 1st警報点の濃度
- アラーム : 2nd警報点の濃度

### 3-3. データ閲覧画面

画面右端の“データ閲覧”ボタンをクリックすると以下の画面に切り替わり、ダウンロード データの一覧を見ることが出来ます。



Windows のエクスプローラと同じように操作可能です。但し以下のことは出来ません。

1. 各データの名称を変更する。
2. 各データを別の位置に移動する。

エクスプローラ風フォルダは、シリアル番号・ステーション ID・ユーザーID の順で階層表示されます。

各フォルダ、データ名は、以下のような規則に則っています。

フォルダ名: 03/11=2011 年 03 月のデータ

ファイル名: 22111930\_3EB=インターバルトレンド 22 日 11 時 19 分 30 秒 (ロギング開始日時)

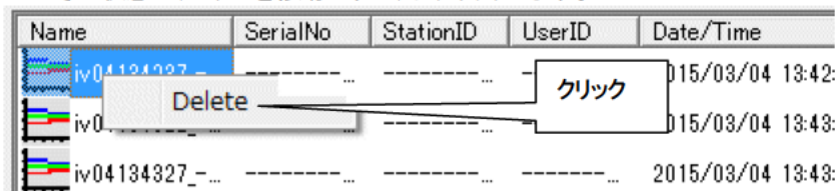
al26150419\_3EB=アラームトレンド 26 日 15 時 04 分 19 秒 (アラーム発生日時)

各フォルダのデータ数の制限はパーソナルコンピュータのメモリー制限内となりますが、レスポンスを保つためにデータファイルの年毎バックアップなどを行ってください。4. データの保守を参照してください。

① データを削除する

● 削除

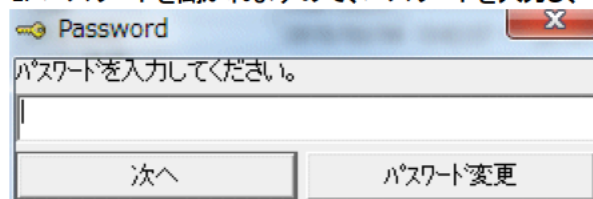
1. 削除したいデータ(フォルダ)を、クリックし選択状態にします。
2. その状態で(マウスを移動せずに)右クリックします。



“Delete”メニューがでますので、“Delete”をクリックします。

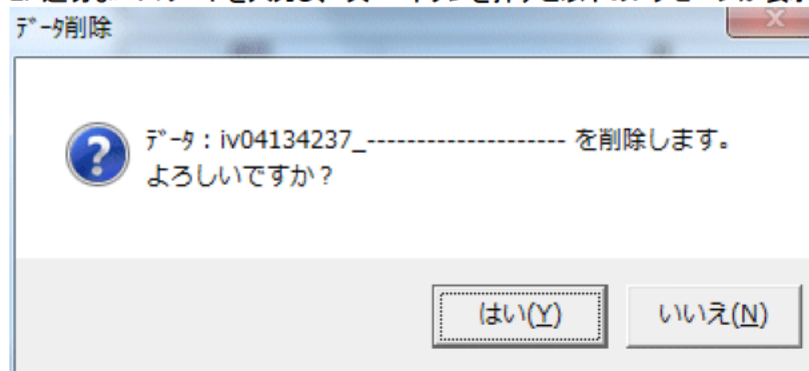
● パスワードの入力

1. パスワードを聞かれますので、パスワードを入力し、“次へ”ボタンを押してください。



注意:パスワードを入力せず、“次へ”ボタンを押したときは、削除処理がキャンセルされます。

2. 適切なパスワードを入力し、“次へ”ボタンを押すと以下のメッセージが表示されます。



“はい”ボタンでデータが削除されます。

“いいえ”ボタンでデータの削除がキャンセルされます。

② データの詳細を見る

● データ詳細へ

1. 詳細表示したいデータをクリックし、概要表示欄に概要が表示されていることを確認し、“データ詳細”ボタンをクリックします。

または、

2. 詳細表示したいデータをダブルクリックします。

データ詳細の使用法は → 3-4. データ詳細画面 を参照ください

③ 概要表示欄

● 内容詳細

選択されているデータが通常のデータの場合に、そのデータの概要が表示されます。  
インターバルレンド

項目	値
名前	iv04134237_-----
測定日時	2015/03/04 13:42:37 ~ 2015/03/04 13:43:00
シリアル番号	-----
ステーションID	-----
ユーザーID	-----
データ数	4
測定間隔(秒)	10
ガス名(フルスケール)	CH4(10000ppm)
平均値	0 ppm
最大値	0 ppm
最大値日時	03/04 13:42:37
ワーニング	250 ppm
アラーム	500 ppm

- 名前 : データ名
- 測定日時 : 測定開始・終了時刻
- シリアル番号・ステーション ID・ユーザー ID : NC-1000 本体のステータス
- データ数 : データサンプル数
- 測定間隔(秒) : サンプルング間隔(秒)
- ガス名(フルスケール) : ガス(フルスケール)
- 平均値 : ガスの平均値
- 最大値 : ガスのデータ最大値
- 最大値日時 : 最大値発生時刻
- 最小値 : ガスのデータ最小値
- 最小値日時 : 最小値発生時刻
- ワーニング : 1st 警報点
- アラーム : 2nd 警報点

アラームイベント

DateTime	Gas	Event
2015/03/04 17:03:12	CH4(10000ppm)	WARNING
2015/03/04 17:03:12	CH4(10000ppm)	ALARM
2015/03/04 15:15:20	CH4(10000ppm)	WARNING
2015/03/04 15:15:20	CH4(10000ppm)	ALARM
2015/03/04 13:54:03	CH4(10000ppm)	ALARM
2015/03/04 13:53:48	CH4(10000ppm)	WARNING

- DateTime : イベント発生時刻
- Gas : 発生したガス
- Event : イベントの種類



アラームトレンド

項目	値
名前	al04135348_-----
アラーム日時	2015/03/04 13:53:48
シリアル番号	-----
ステーションID	ST-ID003
ユーザーID	-----
データ数	720
測定間隔(秒)	5
ガス名(フルスケール)	CH4(10000ppm)
値	250 ppm
ワーニング	250 ppm
アラーム	500 ppm

- 名前 : データ名
- アラーム日時 : 警報発報時刻
- シリアル番号・ステーション ID・ユーザー ID : NC-1000 本体のステータス
- データ数 : データサンプル数
- 測定間隔(秒) : サンプリング間隔
- ガス名(フルスケール) : ガス(フルスケール)
- 値 : 警報発報時の濃度
- ワーニング : 1st 警報点
- アラーム : 2nd 警報点

校正履歴

DateTime	Gas	Before	After
2015/03/04 17:02:57	CH4(100ppm)	800 ppm	800 ppm
2015/03/04 15:14:45	CH4(100ppm)	1000 ppm	1010 ppm
2015/03/04 15:14:25	CH4(100ppm)	975 ppm	1000 ppm
2015/03/04 14:11:57	CH4(100ppm)	0 ppm	-----
2015/03/04 14:10:13	CH4(100ppm)	0 ppm	-----
2015/03/04 14:09:49	CH4(100ppm)	0 ppm	-----
2015/03/04 13:57:57	CH4(100ppm)	1040 ppm	1000 ppm
2015/03/04 13:57:31	CH4(100ppm)	0 ppm	-----

- DateTime : イベント発生時刻
- Gas : ガス
- Before : 校正前濃度
- After : 校正後濃度

故障イベント

DateTime	Gas/Body	Event
2015/03/04 17:04:23	Body	Fail(FLOW)
2015/03/04 14:10:13	CH4(10000ppm)	Fail(Span)
2015/03/04 14:09:50	CH4(10000ppm)	Fail(Span)
2015/03/04 13:48:20	Body	Fail(FLOW)
1900/01/01	Body	Fail(CLO)

- DateTime : イベント発生時刻
- Gas/Body : 発生したガスまたは NC-1000 本体
- Event : イベントの種類



ハンブ試験

DateTime	Gas	Test Result	Concentration	Judge
2015/03/04 17:1	CH4(100ppm)	790 ppm	800 ppm	PASS
2015/03/04 15:	CH4(100ppm)	975 ppm	1000 ppm	PASS
2015/03/04 14:1	CH4(100ppm)	0 ppm	10000 ppm	FAIL

DateTime : イベント発生時刻  
 Gas : ガス  
 Test Result : 試験結果濃度  
 Concentration : 試験ガス濃度  
 Judge : 試験判定

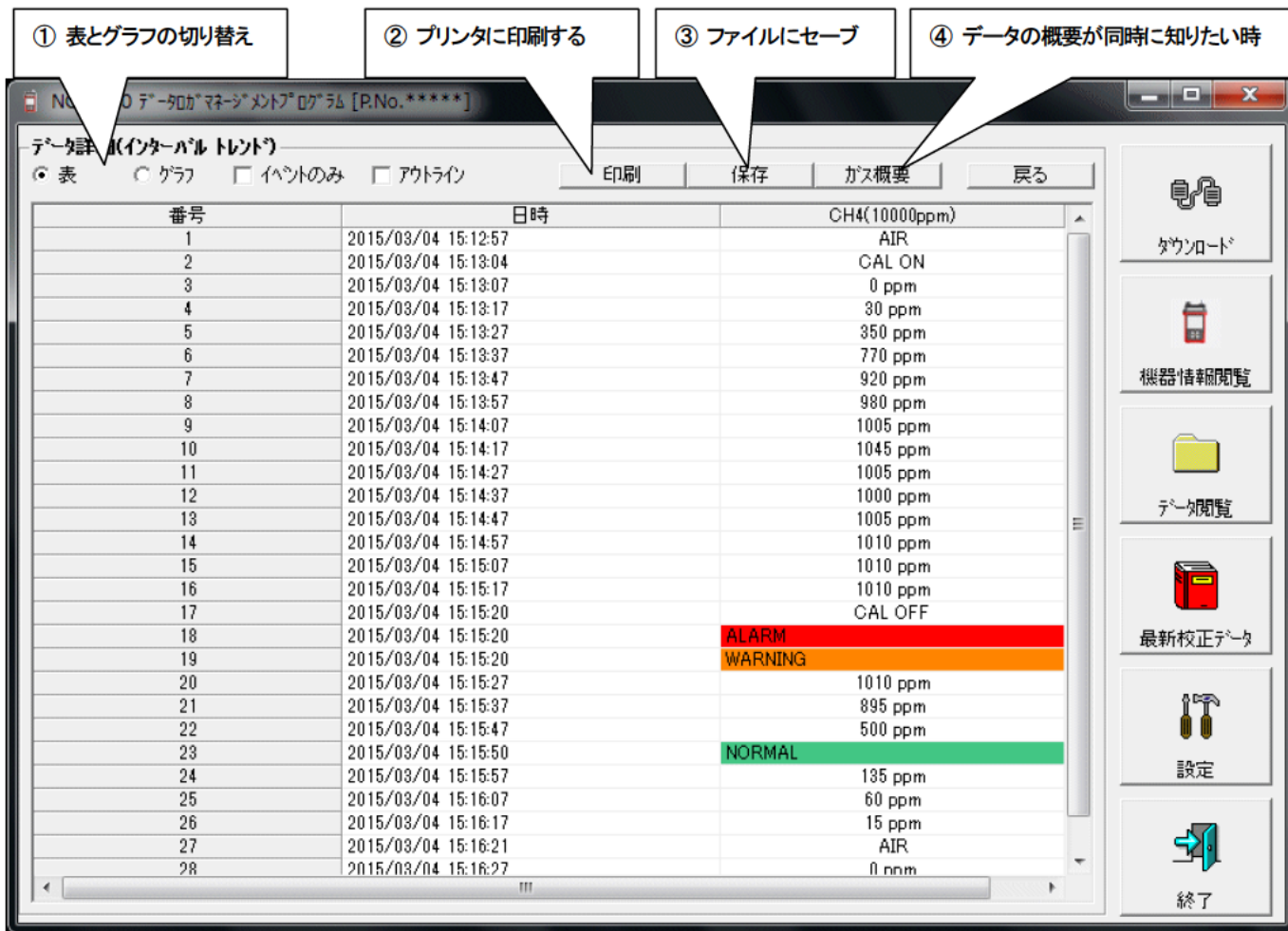
スナップショット

項目	値
名前	ss04134358_-----
測定日時	2015/03/04 13:43:58
シリアル番号	-----
ステーションID	ST-ID001
ユーザーID	-----
-----	-----
-----	-----
ガス名(フルスケール)	i-C4H10(10000ppm)
濃度値	0 ppm

名前 : データ名  
 測定日時 : 記録日時  
 シリアル番号・ステーション ID・ユーザー ID : NC-1000 本体のステータス  
 ガス名(フルスケール) : ガス(フルスケール)  
 濃度値 : 記録日時のガス濃度

### 3-4. データ詳細画面

各データの詳細内容を表・グラフにした画面です。



- イベントのみ … イベントデータだけを表示します。
- アウトライン … サンプルデータが変化しているものだけを表示します。

**注意：** サンプル数が5個以下の場合にはグラフ表示できません。

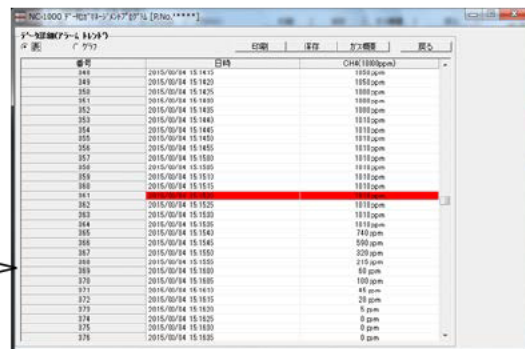
“アラームトレンド”データの表は、アラーム発生個所が、赤く塗りつぶされています。

イベントデータのうち、WARNING, ALARM, OVER にマウスカーソルを合わせるとカーソルが次のようになります。このとき、そのセルのクリックで該当するトレンドデータを検索し、存在した場合は別画面に表示することが出来ます。



WARNING, ALARM, OVER の場合

WARNING, ALARM, OVER の場合の別画面。  
戻るボタンで画面オフとなります。

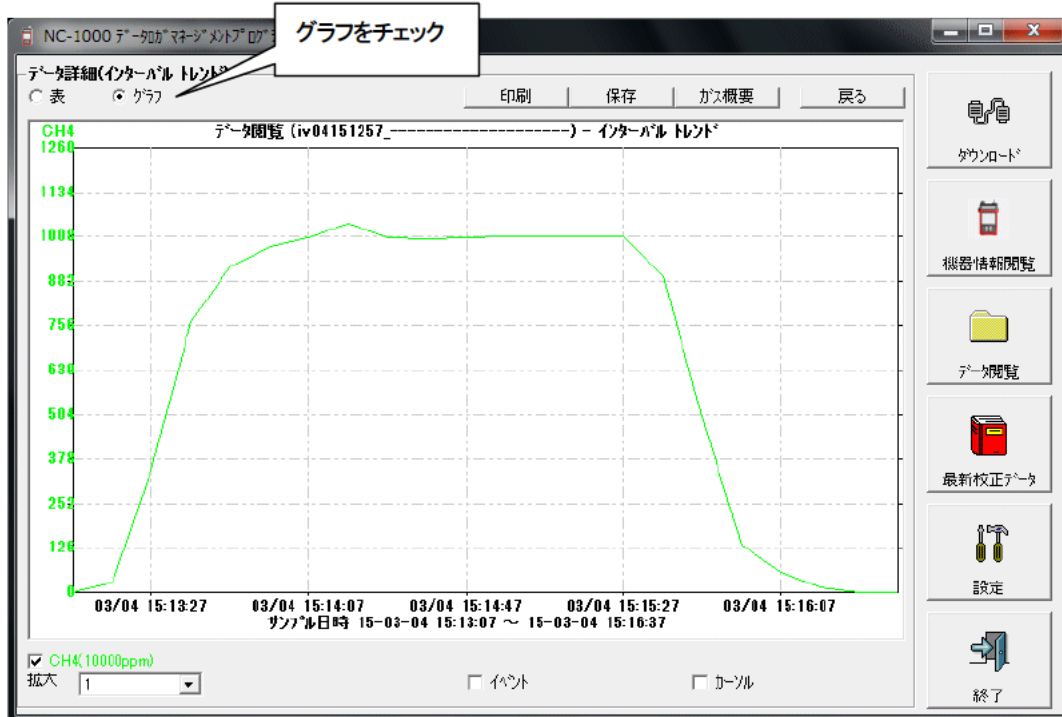


※ “アラームトレンド”データの表は、アラーム発生個所が、赤く塗りつぶされています。

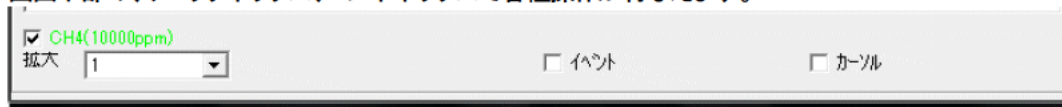
① 表とグラフの切り替え

● グラフに切り替え

1. 画面左上の“表”、“グラフ”ラジオボタンの“グラフ”をチェックします。



画面下部の、チェックボックス、コンボボックスで各種操作が行なえます。



上段のチェックボックス(ガス名) : ガスデータの表示のON/OFFを切り替えます。

“拡大”コンボボックス : サンプル数に応じた横軸の拡大率を指定します。

“イベント”チェックボックス : 警報などのイベント情報のマーカを表示します。

“カーソル”チェックボックス : グラフ上にカーソルを表示します。

注意 :

グラフの縦軸最大値は、以下の定義式に基づき自動調節されます。

イベントの無いデータの最大値を“x”とした場合、フルスケールが10以上の場合は  $Y_{max} = \{ \text{int}(x/10) + 1 \} * 10$  で、フルスケール10未満は  $Y_{max} = \{ \text{int}(x) + 1 \}$  “int”…小数部を切り捨てにします。

注意 :

グラフは通常の濃度データは5個以上無いと表示されません。

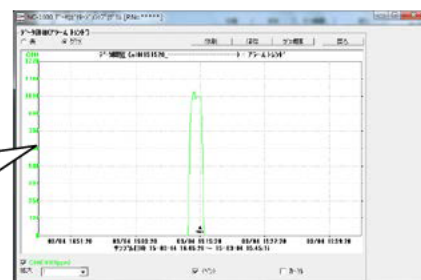
イベントのみデータは濃度情報を持っていないためグラフ化することができません。

イベントデータのうち、WARNING, ALARM, OVER にマウスカーソルを合わせるとカーソルが次のようになります。このときクリックで該当するトレンドデータを検索し、存在した場合は別画面に表示することが出来ます。



WARNING,ALARM,OVER の場合

WARNING,ALARM,OVER の場合の別画面。  
戻るボタンで画面オフとなります。

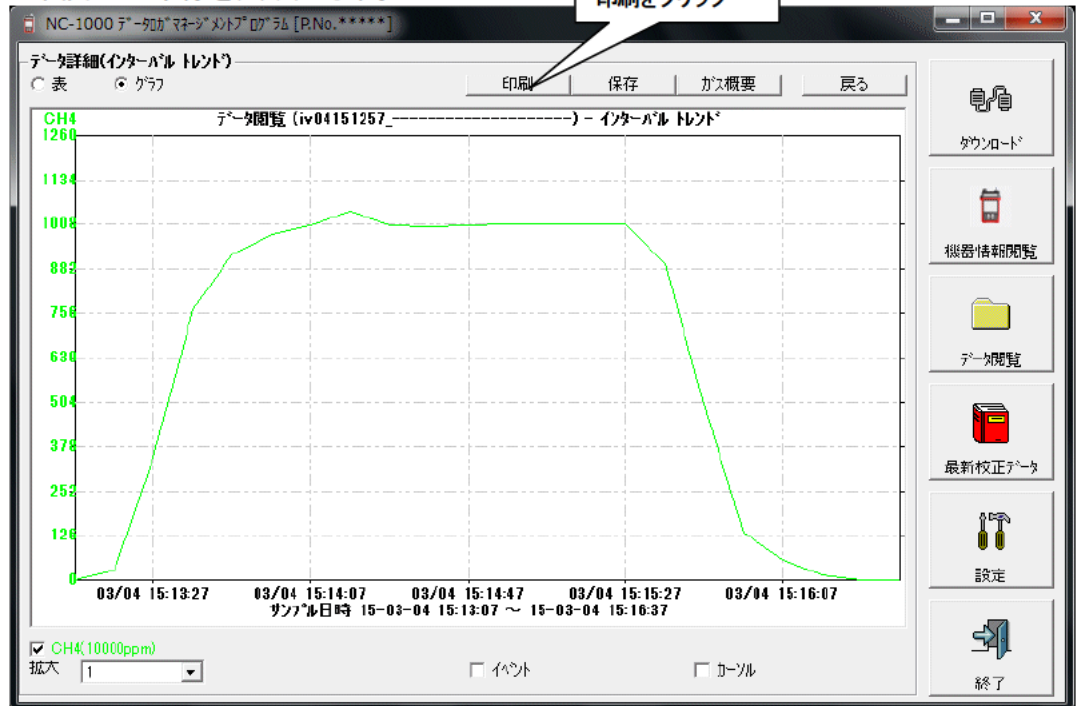


② プリンタに印刷する

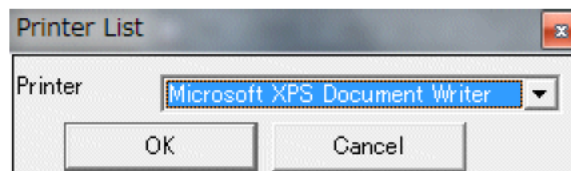
● 印刷

現時点でデータ詳細画面に表示している内容を、プリンタに送り印刷することができます。

1. 画面上の“印刷”をクリックします。



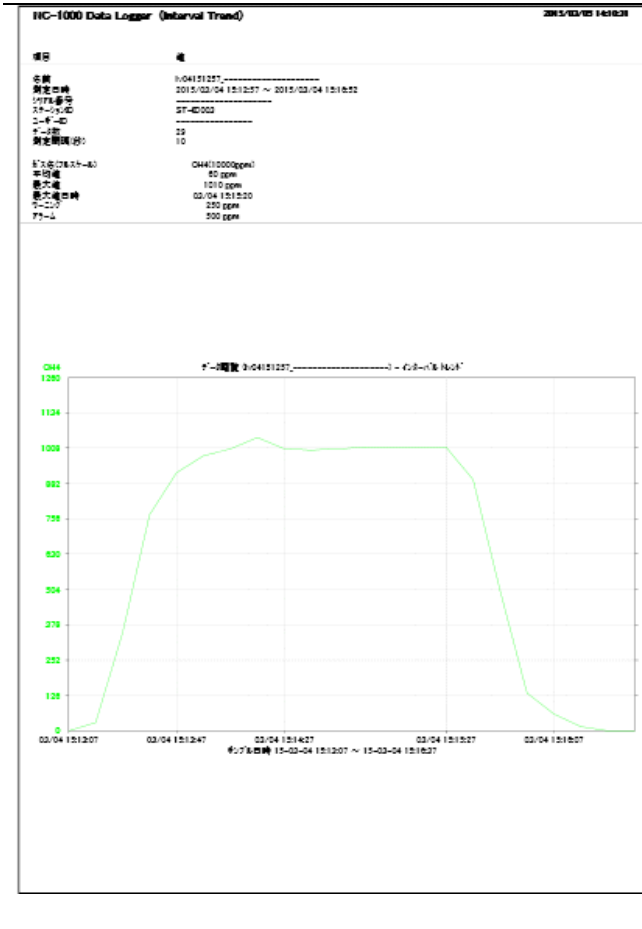
プリンタの選択画面が表示されますので、印刷を行いたいプリンタを選択して“OK”ボタンをクリックします。



“OK”ボタンをクリックすれば、印刷が開始されます。

“Cancel”ボタンをクリックすれば、印刷を行わず画面が戻ります。

印刷例(グラフ印刷)



印刷例(表印刷)

HC-1000 Data Logger (Interval Trend) 2015/03/04 14:16:32

項目 値  
 測定日時 2015/03/04 15:15:27 ~ 2015/03/04 15:16:32  
 測定範囲 0 ~ 1200 ppm  
 測定間隔 10  
 測定項目名 CO2

測定項目名: CO2  
 単位: ppm  
 測定範囲: 0 ~ 1200 ppm  
 測定間隔: 10

番号	日時	測定値
1	2015/03/04 15:15:27	0 ppm
2	2015/03/04 15:15:29	0 ppm
3	2015/03/04 15:15:31	0 ppm
4	2015/03/04 15:15:33	0 ppm
5	2015/03/04 15:15:35	0 ppm
6	2015/03/04 15:15:37	0 ppm
7	2015/03/04 15:15:39	0 ppm
8	2015/03/04 15:15:41	0 ppm
9	2015/03/04 15:15:43	0 ppm
10	2015/03/04 15:15:45	0 ppm
11	2015/03/04 15:15:47	0 ppm
12	2015/03/04 15:15:49	0 ppm
13	2015/03/04 15:15:51	0 ppm
14	2015/03/04 15:15:53	0 ppm
15	2015/03/04 15:15:55	0 ppm
16	2015/03/04 15:15:57	0 ppm
17	2015/03/04 15:15:59	0 ppm
18	2015/03/04 15:16:01	0 ppm
19	2015/03/04 15:16:03	0 ppm
20	2015/03/04 15:16:05	0 ppm
21	2015/03/04 15:16:07	0 ppm
22	2015/03/04 15:16:09	0 ppm
23	2015/03/04 15:16:11	0 ppm
24	2015/03/04 15:16:13	0 ppm
25	2015/03/04 15:16:15	0 ppm
26	2015/03/04 15:16:17	0 ppm
27	2015/03/04 15:16:19	0 ppm
28	2015/03/04 15:16:21	0 ppm
29	2015/03/04 15:16:23	0 ppm

印刷例(校正履歴)

HC-1000 Data Logger (Calibration History) 2015/03/04 14:16:32

項目 値  
 測定日時 2015/03/04 15:15:27 ~ 2015/03/04 15:16:32  
 測定範囲 0 ~ 1200 ppm  
 測定間隔 10  
 測定項目名 CO2

番号	日時	測定値	校正値
1	2015/03/04 15:15:27	0 ppm	0 ppm
2	2015/03/04 15:15:29	0 ppm	0 ppm
3	2015/03/04 15:15:31	0 ppm	0 ppm
4	2015/03/04 15:15:33	0 ppm	0 ppm
5	2015/03/04 15:15:35	0 ppm	0 ppm
6	2015/03/04 15:15:37	0 ppm	0 ppm
7	2015/03/04 15:15:39	0 ppm	0 ppm
8	2015/03/04 15:15:41	0 ppm	0 ppm
9	2015/03/04 15:15:43	0 ppm	0 ppm
10	2015/03/04 15:15:45	0 ppm	0 ppm
11	2015/03/04 15:15:47	0 ppm	0 ppm
12	2015/03/04 15:15:49	0 ppm	0 ppm
13	2015/03/04 15:15:51	0 ppm	0 ppm
14	2015/03/04 15:15:53	0 ppm	0 ppm
15	2015/03/04 15:15:55	0 ppm	0 ppm
16	2015/03/04 15:15:57	0 ppm	0 ppm
17	2015/03/04 15:15:59	0 ppm	0 ppm
18	2015/03/04 15:16:01	0 ppm	0 ppm
19	2015/03/04 15:16:03	0 ppm	0 ppm
20	2015/03/04 15:16:05	0 ppm	0 ppm
21	2015/03/04 15:16:07	0 ppm	0 ppm
22	2015/03/04 15:16:09	0 ppm	0 ppm
23	2015/03/04 15:16:11	0 ppm	0 ppm
24	2015/03/04 15:16:13	0 ppm	0 ppm
25	2015/03/04 15:16:15	0 ppm	0 ppm
26	2015/03/04 15:16:17	0 ppm	0 ppm
27	2015/03/04 15:16:19	0 ppm	0 ppm
28	2015/03/04 15:16:21	0 ppm	0 ppm
29	2015/03/04 15:16:23	0 ppm	0 ppm

印刷例(アラームイベント)

HC-1000 Data Logger (Alarm Event) 2015/03/04 14:16:32

項目 値  
 測定日時 2015/03/04 15:15:27 ~ 2015/03/04 15:16:32  
 測定範囲 0 ~ 1200 ppm  
 測定間隔 10  
 測定項目名 CO2

番号	日時	測定値	アラーム
1	2015/03/04 15:15:27	0 ppm	アラーム発生
2	2015/03/04 15:15:29	0 ppm	アラーム発生
3	2015/03/04 15:15:31	0 ppm	アラーム発生
4	2015/03/04 15:15:33	0 ppm	アラーム発生
5	2015/03/04 15:15:35	0 ppm	アラーム発生
6	2015/03/04 15:15:37	0 ppm	アラーム発生
7	2015/03/04 15:15:39	0 ppm	アラーム発生
8	2015/03/04 15:15:41	0 ppm	アラーム発生
9	2015/03/04 15:15:43	0 ppm	アラーム発生
10	2015/03/04 15:15:45	0 ppm	アラーム発生
11	2015/03/04 15:15:47	0 ppm	アラーム発生
12	2015/03/04 15:15:49	0 ppm	アラーム発生
13	2015/03/04 15:15:51	0 ppm	アラーム発生
14	2015/03/04 15:15:53	0 ppm	アラーム発生
15	2015/03/04 15:15:55	0 ppm	アラーム発生
16	2015/03/04 15:15:57	0 ppm	アラーム発生
17	2015/03/04 15:15:59	0 ppm	アラーム発生
18	2015/03/04 15:16:01	0 ppm	アラーム発生
19	2015/03/04 15:16:03	0 ppm	アラーム発生
20	2015/03/04 15:16:05	0 ppm	アラーム発生
21	2015/03/04 15:16:07	0 ppm	アラーム発生
22	2015/03/04 15:16:09	0 ppm	アラーム発生
23	2015/03/04 15:16:11	0 ppm	アラーム発生
24	2015/03/04 15:16:13	0 ppm	アラーム発生
25	2015/03/04 15:16:15	0 ppm	アラーム発生
26	2015/03/04 15:16:17	0 ppm	アラーム発生
27	2015/03/04 15:16:19	0 ppm	アラーム発生
28	2015/03/04 15:16:21	0 ppm	アラーム発生
29	2015/03/04 15:16:23	0 ppm	アラーム発生

印刷例(パンプ試験)

HC-1000 Data Logger (Pump Test) 2015/03/04 14:16:32

項目 値  
 測定日時 2015/03/04 15:15:27 ~ 2015/03/04 15:16:32  
 測定範囲 0 ~ 1200 ppm  
 測定間隔 10  
 測定項目名 CO2

番号	日時	測定値	パンプ試験
1	2015/03/04 15:15:27	0 ppm	パンプ試験
2	2015/03/04 15:15:29	0 ppm	パンプ試験
3	2015/03/04 15:15:31	0 ppm	パンプ試験
4	2015/03/04 15:15:33	0 ppm	パンプ試験
5	2015/03/04 15:15:35	0 ppm	パンプ試験
6	2015/03/04 15:15:37	0 ppm	パンプ試験
7	2015/03/04 15:15:39	0 ppm	パンプ試験
8	2015/03/04 15:15:41	0 ppm	パンプ試験
9	2015/03/04 15:15:43	0 ppm	パンプ試験
10	2015/03/04 15:15:45	0 ppm	パンプ試験
11	2015/03/04 15:15:47	0 ppm	パンプ試験
12	2015/03/04 15:15:49	0 ppm	パンプ試験
13	2015/03/04 15:15:51	0 ppm	パンプ試験
14	2015/03/04 15:15:53	0 ppm	パンプ試験
15	2015/03/04 15:15:55	0 ppm	パンプ試験
16	2015/03/04 15:15:57	0 ppm	パンプ試験
17	2015/03/04 15:15:59	0 ppm	パンプ試験
18	2015/03/04 15:16:01	0 ppm	パンプ試験
19	2015/03/04 15:16:03	0 ppm	パンプ試験
20	2015/03/04 15:16:05	0 ppm	パンプ試験
21	2015/03/04 15:16:07	0 ppm	パンプ試験
22	2015/03/04 15:16:09	0 ppm	パンプ試験
23	2015/03/04 15:16:11	0 ppm	パンプ試験
24	2015/03/04 15:16:13	0 ppm	パンプ試験
25	2015/03/04 15:16:15	0 ppm	パンプ試験
26	2015/03/04 15:16:17	0 ppm	パンプ試験
27	2015/03/04 15:16:19	0 ppm	パンプ試験
28	2015/03/04 15:16:21	0 ppm	パンプ試験
29	2015/03/04 15:16:23	0 ppm	パンプ試験

印刷例(故障イベント)	印刷例(スナップショット)																														
<p>HC-1000 Data Logger (Trouble Event) 2015/03/04 14:12:44</p> <p>項目 値</p> <p>印刷番号 ST-4000</p> <p>スナップショット</p> <p>ユーザID</p> <p>最終更新日 2015/03/04 13:27:12</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>日時</th> <th>Case/Body</th> <th>Fail/Event</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2015/03/04 13:04:30</td> <td>Body</td> <td>Fail/LOW</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2015/03/04 14:03:12</td> <td>Case/1000Open</td> <td>Fail/Open</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2015/03/04 14:02:50</td> <td>Case/1000Open</td> <td>Fail/Open</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2015/03/04 12:42:20</td> <td>Body</td> <td>Fail/LOW</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1900/01/01</td> <td>Body</td> <td>Fail/LOW</td> </tr> </tbody> </table>	番号	日時	Case/Body	Fail/Event	1	2015/03/04 13:04:30	Body	Fail/LOW	2	2015/03/04 14:03:12	Case/1000Open	Fail/Open	3	2015/03/04 14:02:50	Case/1000Open	Fail/Open	4	2015/03/04 12:42:20	Body	Fail/LOW	5	1900/01/01	Body	Fail/LOW	<p>HC-1000 Data Logger (Snap Shot) 2015/03/04 14:12:39</p> <p>項目 値</p> <p>名称 ee04124250</p> <p>測定日時 2015/03/04 12:42:59</p> <p>印刷番号 ST-4000</p> <p>スナップショット</p> <p>ユーザID</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>日時</th> <th>I-C/Case/Body/Event</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2015/03/04 12:42:59</td> <td>0 open</td> </tr> </tbody> </table>	番号	日時	I-C/Case/Body/Event	1	2015/03/04 12:42:59	0 open
番号	日時	Case/Body	Fail/Event																												
1	2015/03/04 13:04:30	Body	Fail/LOW																												
2	2015/03/04 14:03:12	Case/1000Open	Fail/Open																												
3	2015/03/04 14:02:50	Case/1000Open	Fail/Open																												
4	2015/03/04 12:42:20	Body	Fail/LOW																												
5	1900/01/01	Body	Fail/LOW																												
番号	日時	I-C/Case/Body/Event																													
1	2015/03/04 12:42:59	0 open																													

**プリンタ設定の注意点**

①プリンタの詳細設定は、ご使用のプリンタで異なります。お持ちのプリンタの取り扱い説明書をご参照ください。

②本プログラムは“印刷範囲”の項目を指定することは出来ません。よって、選択した詳細データの一部のみを印刷するような使い方は出来ません。

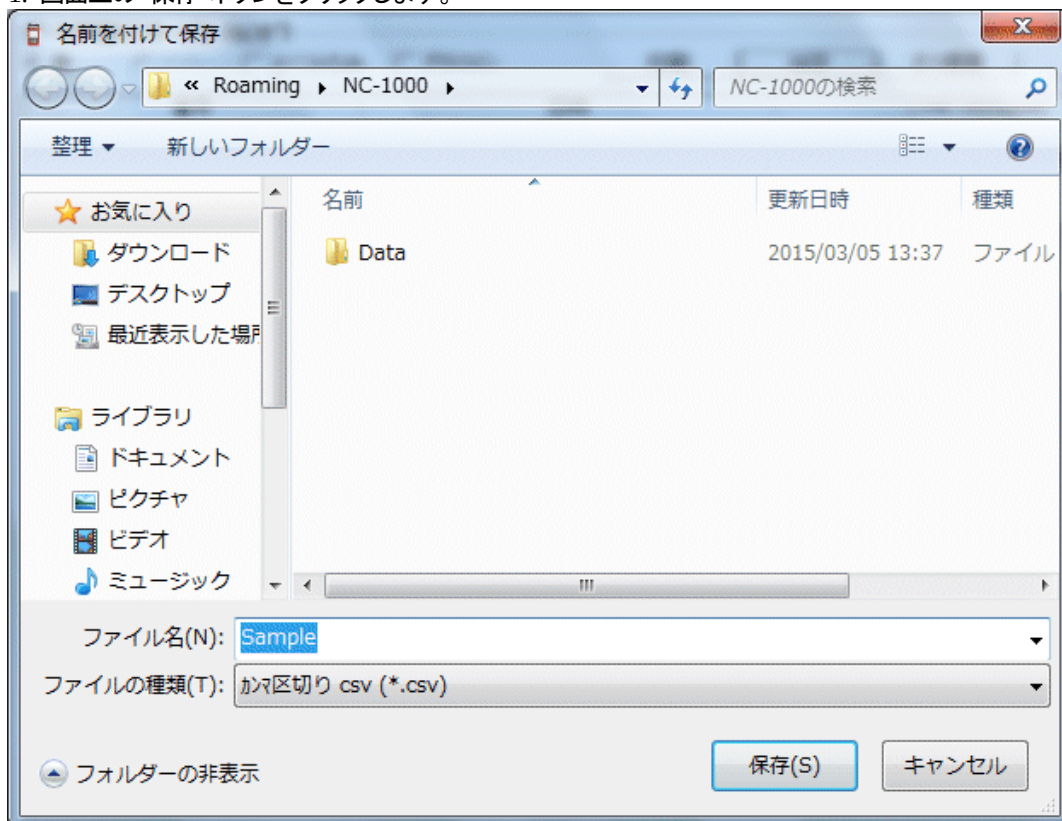
③印刷部数の設定は、指定したプリンタによって設定できるプリンタのみ変更可能になります。  
 ここでの変更は、以後使用する他のアプリケーションにも影響を与えます。(たとえば、印刷部数を2部にした場合、他のアプリケーションの印刷も2部になる場合があります。)

本プログラムでプリンタ設定を変更した場合で、その後、他のアプリケーションで印刷を行う場合は、そのアプリケーションの印刷設定をご確認してから印刷してください。

## ③ ファイルに保存

## ● 保存

1. 画面上の“保存”ボタンをクリックします。



格納したい場所と、ファイル名を指定し、“保存”ボタンでデータが格納されます。  
“キャンセル”ボタンで保存をキャンセルします。

**注意：**

表が表示されている場合は、表の内容が Excel 用 CSV 形式で保存されます。  
グラフが表示されている場合は、グラフのビットマップが保存されます。



④ データの概要が同時に知りたい時

● 概要表示

1. 画面上部の“ガス概要”ボタンをクリックします。

The screenshot shows a software window titled 'NC-1000 データ管理ソフト' (NC-1000 Data Management Software). The main area displays a table of measurement data. At the top, there are buttons for '印刷' (Print), '保存' (Save), 'ガス概要' (Gas Summary), and '戻る' (Back). A callout box labeled 'クリック' (Click) points to the 'ガス概要' button. Below the main table, a smaller table shows a summary of the data. A callout box labeled '概要が表示されます。' (Summary is displayed) points to this summary table.

項目	値
名前	iv04151257
測定日時	2015/03/04 15:12:57 ~ 2015/03/04 15:16:52
シリアル番号	
ステーションID	ST-ID003
ユーザーID	
データ数	29
測定間隔(秒)	10
ガス名(フルスケール)	CH4(1000ppm)
平均値	60 ppm

番号	日時	CH4(1000ppm)
1	2015/03/04 15:12:57	AIR
2	2015/03/04 15:13:07	CAL ON
3	2015/03/04 15:13:17	0 ppm
4	2015/03/04 15:13:27	30 ppm
5	2015/03/04 15:13:37	350 ppm
6	2015/03/04 15:13:47	770 ppm
7	2015/03/04 15:13:47	920 ppm
8	2015/03/04 15:13:57	980 ppm
9	2015/03/04 15:14:07	1005 ppm
10	2015/03/04 15:14:17	1045 ppm
11	2015/03/04 15:14:27	1005 ppm
12	2015/03/04 15:14:37	1000 ppm
13	2015/03/04 15:14:47	1005 ppm
14	2015/03/04 15:14:57	1010 ppm
15	2015/03/04 15:15:07	1010 ppm
16	2015/03/04 15:15:17	1010 ppm
17	2015/03/04 15:15:20	CAL OFF

概要が表示されている状態で、“ガス概要”ボタンをクリックすると、概要表示部が消えます。



⑤ 表の詳細

● イベント色

表の各ガスの濃度表示部は、そのとき発生したイベントによって背景が塗りつぶされます。

1010 ppm
1010 ppm
1010 ppm
CAL OFF
<b>ALARM</b>
<b>WARNING</b>
1010 ppm
895 ppm
500 ppm
<b>NORMAL</b>
135 ppm
60 ppm
15 ppm
AIR
0 ppm
0 ppm

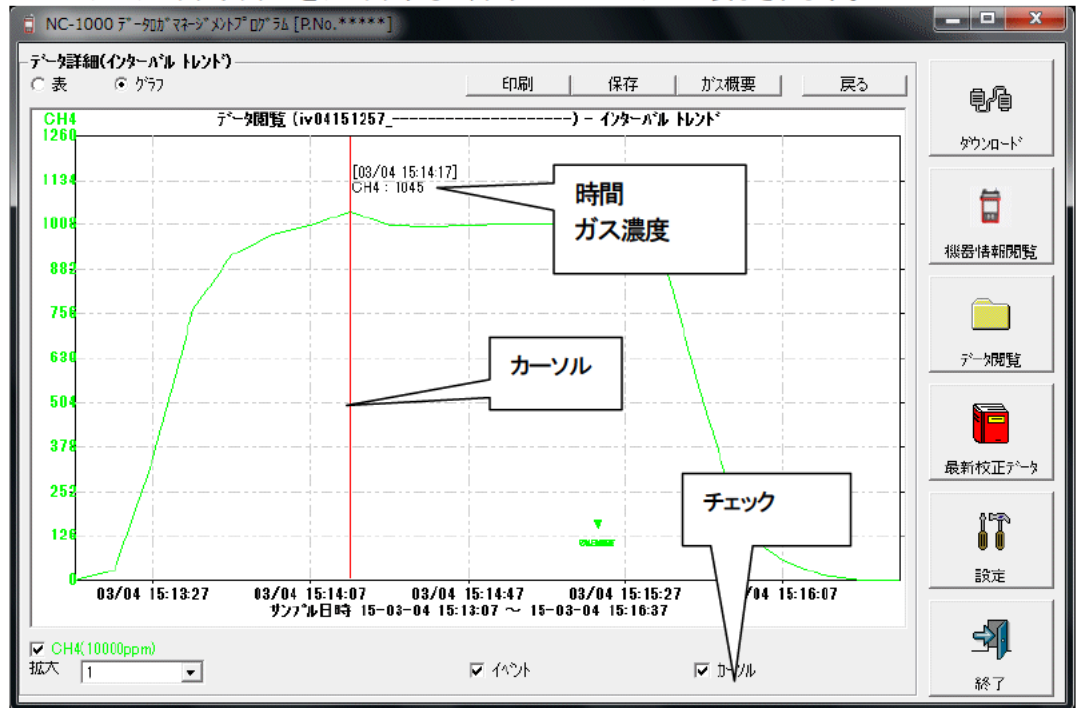
背景色で色分けされています。

Fail	: 灰色	故障
Warning	: 橙色	1st警報
Alarm	: 赤色	2nd警報
Normal	: 深い緑	上記状態より復帰
Over	: 明るい赤	フルスケールオーバー

⑥ グラフの詳細

● カーソル

1. カーソルチェックボックスをチェックすると、グラフ上にカーソルが表示されます。

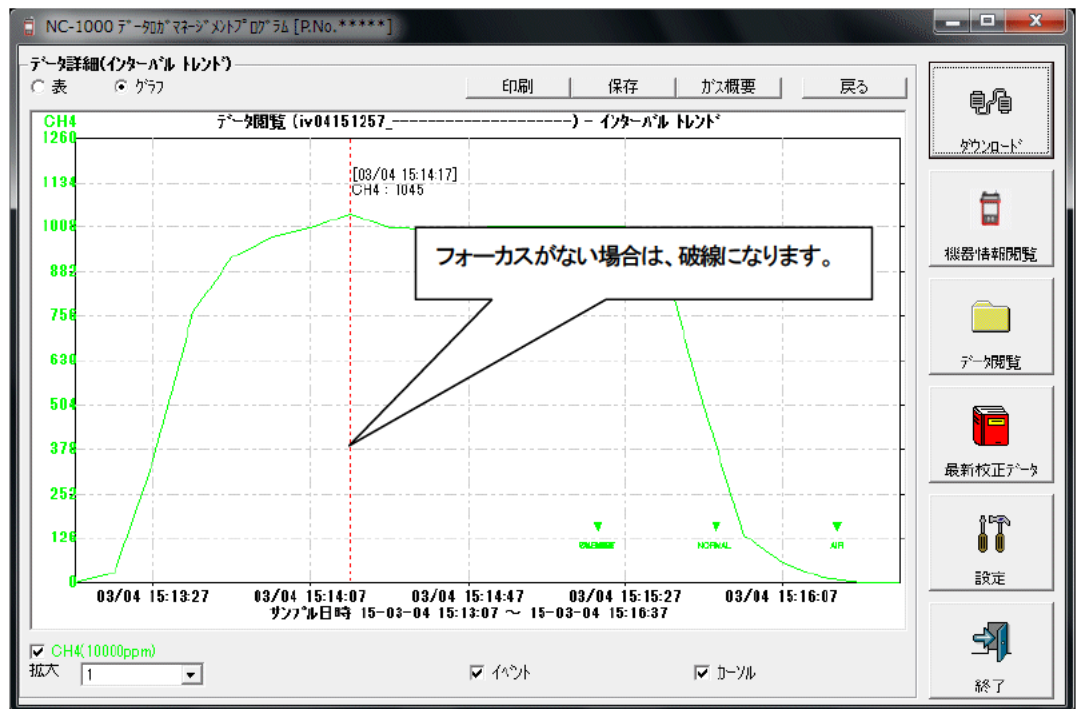


カーソルは、“←”、“→”キーで左右に動き、“↑”、“↓”キーで時刻・濃度表示が上下に移動します。  
 “Shift”キーを併用すれば、高速に移動することが出来ます。

**注意：**

プログラムとは別のウインドウを開いたりして、グラフ領域以外の部分にフォーカスが移っているときは、カーソル操作は出来ません。

カーソル自身が、破線表示になります。フォーカスを戻すには、グラフの領域内をクリックしてください。



### 3-5. 最新校正データ画面

過去ダウンロードした本体の校正期限切れの確認を行いません。ハンブ試験についても同様に表示されます。

The screenshot shows a software window titled "NC-1000 データ". It contains two main data tables and a sidebar of icons.

**最新校正データ (Latest Calibration Data)**

番号	シリアル	ユーザー	ステーション	CH4	最終読み込み
1	-----	-----	ST-ID001	2008/01/01	2015/03/05 14:36:20

**最新ハンブ試験データ (Latest Humb Test Data)**

番号	シリアル	ユーザー	ステーション	CH4	最終読み込み
1	-----	-----	ST-ID001	2011/04/01	2015/03/05 14:36:20

**Callouts and Annotations:**

- ① 表示内容の変更 (Change display content) - points to the top menu area.
- ② プリンタに印刷する (Print to printer) - points to the "印刷" (Print) button.
- ③ データの削除 (Delete data) and ④ パスワードの変更 (Change password) - points to the data table area.
- このボタンをクリック (Click this button) - points to the "最新校正データ" (Latest Calibration Data) icon in the sidebar.
- ハンブ試験について (About Humb Test) - points to the main data area.

**Sidebar Icons:** ダウンロード (Download), 機器情報閲覧 (View device information), データ閲覧 (View data), 最新校正データ (Latest Calibration Data), 設定 (Settings), 終了 (End).

注意 : 表の内容は、閲覧のみで変更は出来ません。

① 表示内容の変更

● 期限切れデータ

1. “期限付近データ”ラジオボタンをクリックします。

番号	シリアル	ユーザー	ステーション	ガス	CH4	最終読み込み
1	-----	-----	ST-ID001	CH4	2008/01/01	2015/03/05 14:36:20
2	-----	-----	ST-ID003	CH4	2015/03/04 17:02:57	2015/03/05 14:31:04

過去、接続した(機器情報データをダウンロードした)NC-1000 本体の中から校正の期限切れになっているものを抜き出して表示します。

● 一覧表示

1. “校正日時リスト”ラジオボタンをクリックします。

番号	シリアル	ユーザー	ステーション	ガス	CH4	最終読み込み
1	-----	-----	ST-ID001	CH4	2008/01/01	2015/03/05 14:36:20
2	-----	-----	ST-ID003	CH4	2015/03/04 17:02:57	2015/03/05 14:31:04

過去、接続した NC-1000 本体のデータを一覧表示します。(同じシリアル番号・ユーザー ID・ステーション ID のものは最新のデータのみ表示します。)

● 詳細表示

1. “データ詳細モード”ラジオボタンをクリックします。

番号	シリアル	ユーザー	ステーション	ガス	校正前	校正後	校正濃度	校正日
1	-----	-----	ST-ID001	CH4	0	0	5000	今すぐ
2	-----	-----	ST-ID003	CH4	800	800	800	残り89日

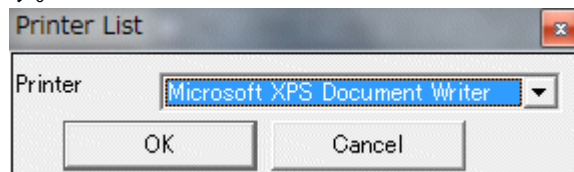
過去、接続した NC-1000 本体のデータを、機器情報画面と同様のフォーマットで表示します。

表示内容の詳細は → 3-2. 機器情報画面 ③校正履歴に関する情報を参照ください。

② プリンタに印刷する

● 印刷

“期限付近データ”または“校正日時リスト”で最新校正日を印刷することができます。プリンタの選択画面が表示されますので、印刷を行いたいプリンタを選択して“OK”ボタンをクリックします。

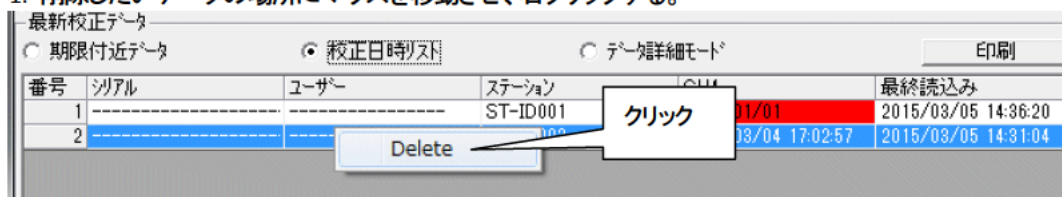


NC-1000 Data Logger (Last Calibration)						2015/03/05 14:41:26
番号	シリアル	ユーザー	ステーション	CH4	最終読み込み	
1			ST-ID001	2008/01/01		2015/03/05 14:36:20
2			ST-ID003	2015/03/04 17:02:57		2015/03/05 14:31:54

③ データの削除

● 削除

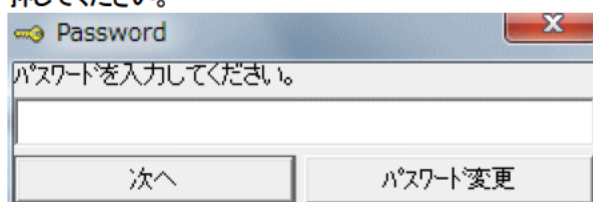
1. 削除したいデータの場合にマウスを移動させ、右クリックする。



注意:データの削除は、“期限付近データ”もしくは、“校正日時リスト”表示のみ有効です。  
“データ詳細モード”では、使用できません。

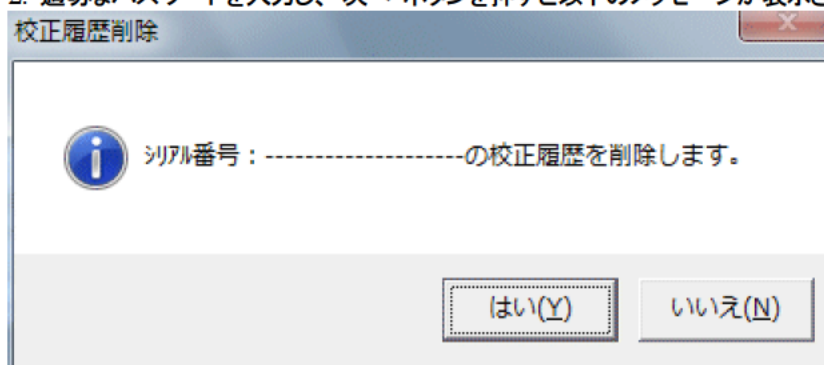
1.“Delete”ボタンをクリックすると、パスワードを聞かれますので、パスワードを入力し、“次へ”ボタンを押してください。

● パスワードの入力



注意:パスワードを入力せず、“次へ”ボタンを押したときは、削除処理がキャンセルされます。

2. 適切なパスワードを入力し、“次へ”ボタンを押すと以下のメッセージが表示されます。

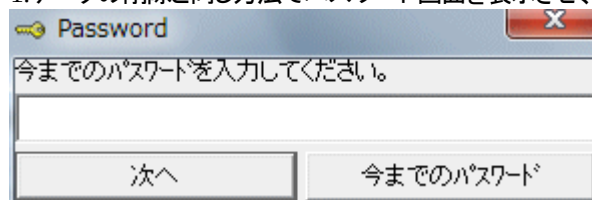


“はい”ボタンでデータが削除されます。  
“いいえ”ボタンでデータの削除がキャンセルされます。

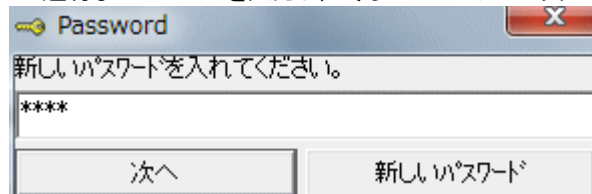
## ④ パスワードの変更

## ● パスワードの入力

1. データの削除と同じ方法でパスワード画面を表示させ、“パスワード変更”ボタンをクリックします。

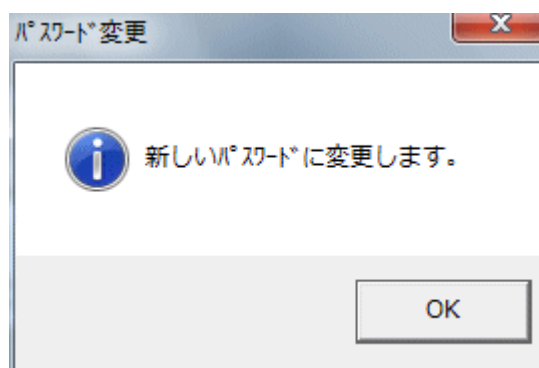


2. 適切なパスワードを入力し、“今までのパスワード”ボタンを押すと以下のメッセージが表示されます。



3. ここで新しいパスワードを入力し、“新しいパスワード”ボタンをクリックします。

4. 再度、同様にパスワードを聞いてきますので、同じ(新しい)パスワードを入力し、“新しいパスワード”をクリックします。



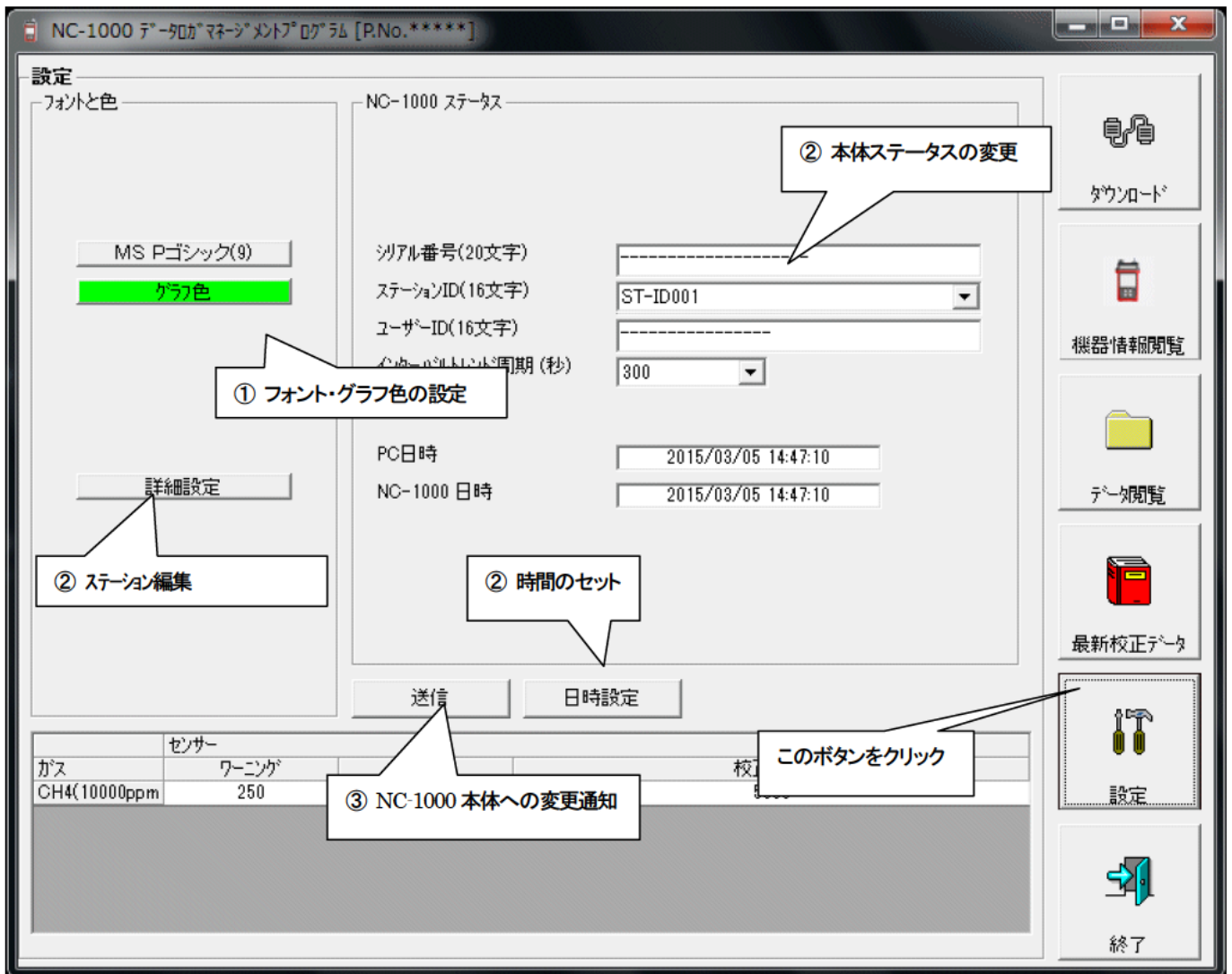
“OK”をクリックすれば、新しいパスワードに更新されます。

**注意:** インストール直後のパスワードは、“Riken”となっています。(大文字・小文字の区別がありません。)



### 3-6. 設定画面

画面の表示設定と本体の内容の設定を行ないます。



注意：設定・変更したデータは、必ず“送信”ボタンで、NC-1000 本体に転送する必要があります。

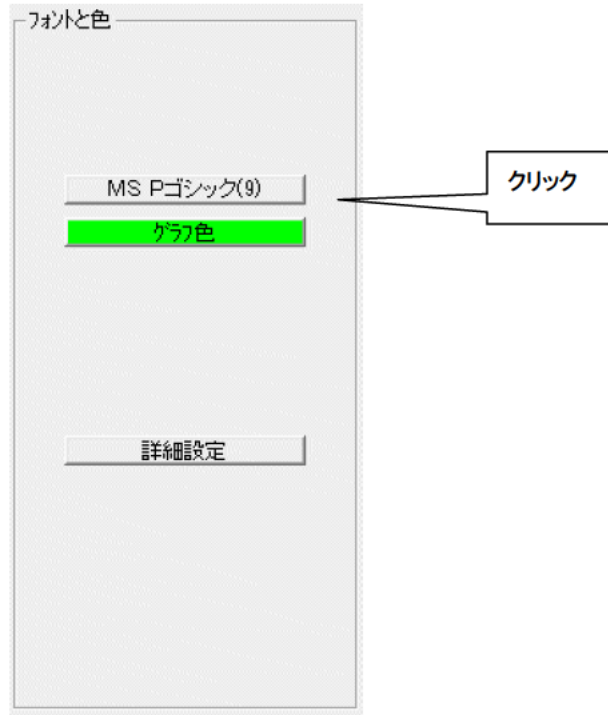
注意：フォントは、次回起動時より適用されます。



## ① フォント・グラフ色の変更

## ● フォントの変更

1. フォント表示エリアをクリックします。



フォント設定ダイアログが出ますので、適切なフォントを設定してください。

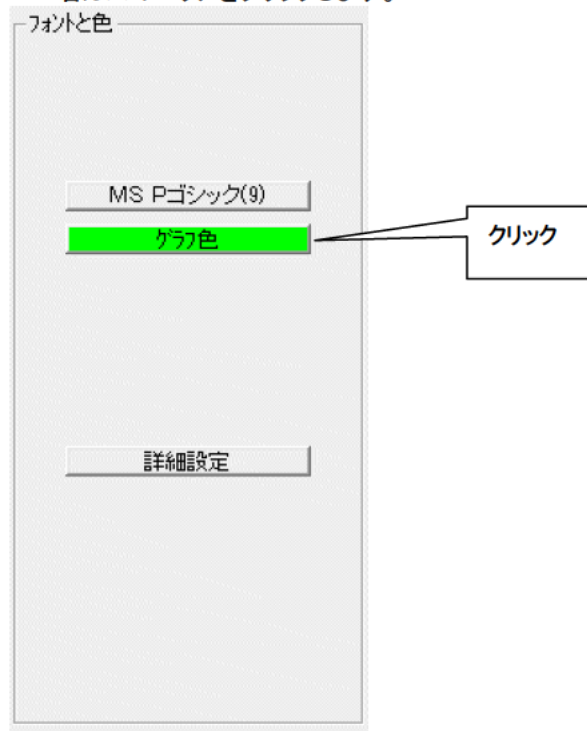
注意：

著しく大きなフォントなどを使用すると、画面が見づらくなる場合があります。  
この変更は次回起動時から有効になります。

## ● グラフ色の変更

グラフの各ガスの表示色を変更することが出来ます。

1. 各ガスのエリアをクリックします。

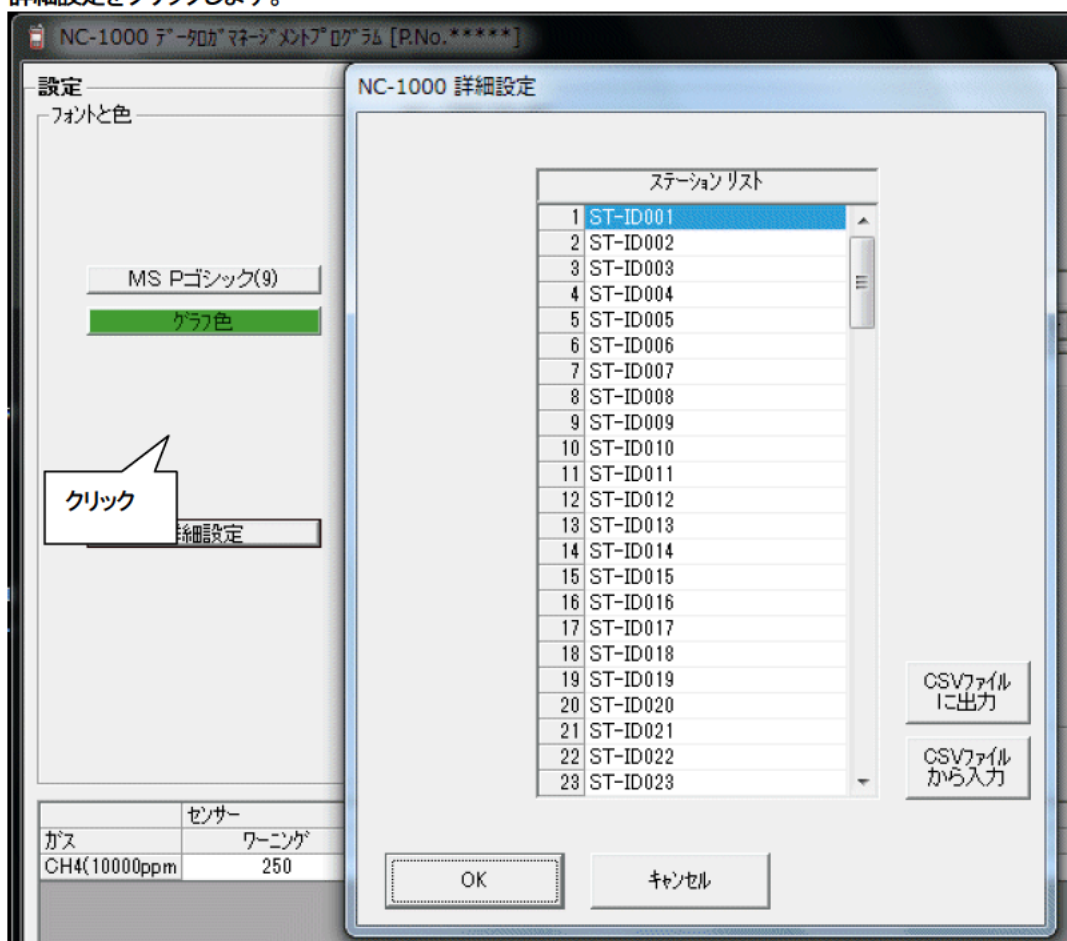


色選択ダイアログボックスが出ますので、適切な色を指定してください。

② 本体ステータスの変更

● ステーションリスト編集

1. ステーションリストを編集します。  
詳細設定をクリックします。



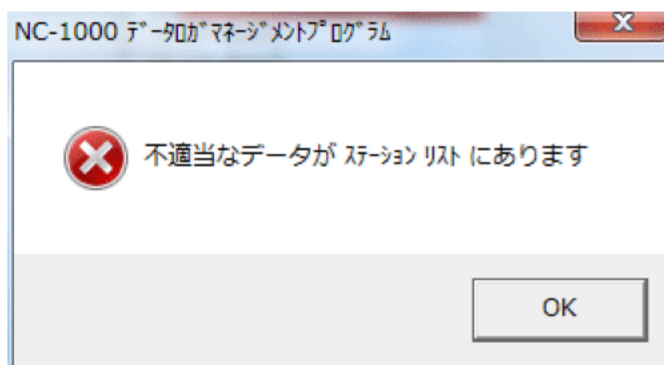
編集ダイアログ画面が表示されます。ステーションリストは 128 番まであります。  
16 文字以内の英数字とスペース、ハイフン記号、スラッシュが入力できます。

※NC-1000 本体では先頭 8文字だけの表示となります。8文字以内英数大文字にすることをお勧めします。

**CSV ファイルに出力** ファイルに出力します。No,データ のテキストファイルが作成されます。

**CSV ファイルから入力** No,データ のテキストファイルから読み込みます。サポートされない文字や長さ超過の場合、背景色が赤くなります。

※背景色に赤いところがある場合、**OK** を実行することはできません。



● 変更

2. ステータスエリアの任意のデータを変更します。

“シリアル番号” 20桁、ユーザー ID” 内容を変更することができます。

“インターバルレイト周期”、“ステーション ID” をリストから選択し変更することができます。

“日時設定”ボタンで、パーソナルコンピュータ(“PC 日時”)と、NC-1000 本体の内部時計(“NC-1000 日時”)を同じに合わせます。

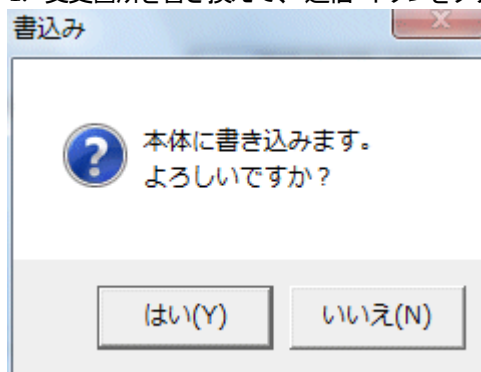
**注意：** 各日時エリアは、直接入力できません。

**注意：** 時計セット以外は、ここの変更だけで NC-1000 本体の内容は書き換わっていません。必ず本体への変更要求処理＝送信を行ってください。

③ NC-1000 本体への変更通知

● 変更の通知

1. 変更箇所を書き換えて、“送信”ボタンをクリックします。



“はい”ボタンをクリックすると、変更内容を NC-1000 本体に転送、記憶されます。

“いいえ”ボタンをクリックすると、通知をキャンセルします。

**注意：** 変更内容に戻すことは出来ません。変更通知前であれば、“ダウンロード”画面で、“機器情報”ボタンをクリックし、機器情報データをダウンロードすることで、本体内部の情報に戻すことができます。

## 4. データの保守

使用方法によっては、1日に数回のデータを読み込む場合など、すぐにデータが多くなり見たいデータを探すだけでも苦労してしまう場合も考えられます。また、予期せぬパーソナルコンピュータのトラブルなどで、貴重なデータを失ってしまう可能性もゼロではありません。

これら不測事態にも対応できるように、定期的にデータのバックアップを取っておくことをお勧めします。

### 4-1. データの格納構造の詳細

データはインストールした NC-1000 プログラムのフォルダ内に有ります。

1)ファイル名 : NC1000.mdb

ファイル種別 : Microsoft JET3.6 データベースファイル

2)ファイル名 : Data

ファイル種別 : フォルダ。年毎、月毎のフォルダ下、各トレンドデータファイル

### 4-2. バックアップ

使用形態にもよりますが、別のハードディスク装置や、外部補助記録装置(MO、CD-R など)にコピーすることをおすすめします。

戻すときは、NC-1000 の実行プログラムのある場所に、コピーすればプログラムは起動時にデータを検索しますので、データを見る事が可能になります。

## 5. 使用上の注意点

本プログラムをご使用の場合は、以下の項目について十分配慮するようお願いいたします。

- ① データ受信時は、適切な位置に NC-1000 があることを確認してください。適切でない場合は、正常に通信できません。
- ② 受信中は、同時に他のアプリケーションでも同じような操作をするようなことは避けてください。(たとえば、データ受信中に他のアプリケーションで赤外線通信を行うような行為)
- ③ 本プログラムを強制終了しないでください。(Ctrl + Alt + Del での操作など)本プログラムは終了処理時に設定パラメータを保存し、次回起動時に備えます。そのため、強制終了した場合は、次回起動に障害をもたらす可能性があります。
- ④ データファイルを直接書きかえることはしないでください。

## 6. トラブルシューティング

症状	原因	解決策
通信が出来ない。	本体位置が悪い。障害物がある。	本体の位置を変える。
	他に赤外線を使うものがある。	他機器の電源を OFF にするか干渉しないようにする
通信中にエラーが出る。	外乱光がある。	赤外線を使うものを排除する。
	通信中に NC-1000 本体が移動	通信中に動かさないようにする
通信データがおかしい	外乱光がある	赤外線を使うものを排除する。

上記対策でも直らない場合は、弊社サービスへご連絡ください。

## 7. IrDA 仕様

### 7-1. 赤外線通信について

本体とは、赤外線通信(IrDA プロトコル)にて通信を行います。

ご使用のコンピューターが赤外線通信可能か確認してください。

また、本体の赤外線通信ポートとパーソナルコンピューターの通信ポートが一直線になるようにし、他の光の干渉を抑えるようにしてください。

**注意:**

このプログラムはIrDAが使用可能な環境でのみ、NC-1000 本体と通信が行えます。ご使用のパーソナルコンピューターにIrDA 装置が内蔵されているか、使用可能な状況になっているかご確認をお願いします。

また、IrDA 装置が内蔵されていない機器(ほとんどのデスクトップ型と一部のノート型)の場合は市販のIrDA⇄USB 変換器などをご使用ください。

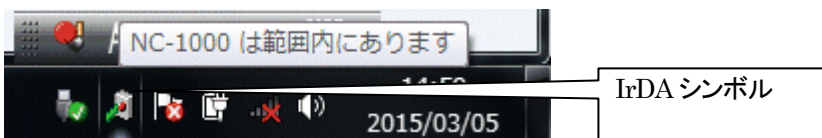
### 7-2. 通信開始の状態表示

通信が開始されるときにオペレーティングシステムが赤外線を持った装置があることを認識し、タスクバーに表示されます。

その表示で、通信状態をある程度把握することができます。

**注意:** オペレーティングシステムならびに IrDA ドライバーの設定で表示内容などが異なる場合があります。

#### 7-2-1. オペレーティングシステムが NC-1000 を認識したときのタスクバーの表示



IrDA のシンボルが現れ、カーソルを重ねると「NC-1000 は範囲内にあります」と表示されます。

#### 7-2-2. データログプログラムと NC-1000 本体が通信を行っているときのタスクバーの表示



IrDA のシンボルが通信のアニメーションに変化し、カーソルを重ねると「NC-1000 とのワイヤレスリンクがxxxxbpsで行われています」と表示されます。

\*「xxxx」は通信速度を示し、通常は 57600bps です。ただし環境の状況で 38400bps 程度まで落ちることがあります。

**注意:**

NC-1000 本体やデータログプログラムの内部処理オーバーヘッド時間の関係上、回線速度が 38400bps以上であれば全体の通信時間にほとんど変化はありません。これは、NC-1000 本体内でデータを作成している時間や、データログプログラムが受信データを解析している時間が比較的大きいためです。



## 8. ファイル構成

インストール時のファイル内容・運用時のファイル内容の詳細です。

### 8-1. インストール直後のカレントディレクトリ

ファイル名	詳細
NC1000.exe RkIrDA11.ocx RKComm.ocx Filemove.avi	NC-1000 プログラム本体 赤外線通信コンポーネント シリアル通信コンポーネント データ受信中のアニメーションファイル

### 8-2. 運用中のカレントディレクトリ

ファイル名	詳細
NC1000.exe RkIrDA11.ocx RKComm.ocx Filemove.avi	NC-1000 プログラム本体 赤外線通信コンポーネント シリアル通信コンポーネント データ受信中のアニメーションファイル
NC1000.ini NC1000.dat NC1000.mdb Data Seriallog.log	NC-1000 初期設定ファイル データダウンロード用ファイル データベースファイル (Microsoft Jet3.6 データベース) トレンドデータファイル保存ディレクトリ プログラム起動時からの通信ポート内容の記録(調査・保守用)

**注意:** 下線以下のファイルとディレクトリは、プログラム起動時以降に作成されます。

## 9. ソフトウェア機能諸元

製品名(プログラム名)	NC-1000 データログマネージメントプログラム
製品型式	SW-NC-1000
実行ファイル名	NC1000.EXE
使用可能 OS	Microsoft 社製 Windows 7 Windows 8 Windows 10
プログラム容量	本体部約 3MB、ライブラリー約5. 2MB (インストール時最大40MB の領域使用)
本体通信	赤外線(IrDA1.1 プロトコル)準拠方式 標準通信設定 ボーレート 57600bps(上限値)
転送時間	最大約 3 分(標準通信設定時、最大データ数時)
媒体	CD-ROM 1 枚
パッケージ内容	取扱説明書(本仕様書) 製品保証 登録カード 使用許諾契約書